

午後六時ニ於ケル支隊長ノ決心

第六問題原案

支隊ハ薄暮ヲ利用シ川井南北ニ亘ル線ニ進出シ明拂曉前面ノ敵ヲ攻撃スル目的ヲ以テ該地附近ニ宿營セントス

第七問題 (宿題)

六月二十三日夜ニ於ケル東軍支隊宿營警戒ヲ含ム配置ノ要圖

第七問題答解ニ對スル總評

一 位置ノ選定ニ就テ

諸官ノ考案ニヨレハ主力ノ位置ハ(一)廣岡新屋附近(二)高尾東側附近(三)淺名附近(四)東海道及廣岡―豐澤法野―諸井道ノ二道上ニ點在スルモノ等アリ第一及第

二ノモノハ東海道方面ニ於ケル敵ノ夜襲ニ對スル顧慮ニ基キ全力ヲ以テ之ニ對スルヲ急務トシ其他ノ顧慮ヲ第二位ニ置キタルモノニシテ敵襲ニ對スル顧慮ニ重キヲ置キタルハ主旨ニ於テ不可ナシト雖支隊尙受働的行動ニ止マラス進ンテ企圖スル所大ナルコトヲ逸シタルモノト云フヘシ第三ノモノハ翌拂曉ニ於ケル攻撃ヲ敵陣地ノ右翼方面ニ施行スル豫定計畫ニ基キ之カ準備上便利ナル位置ニ主力ヲ集結シタルモノニシテ攻撃計畫即チ爾後ノ目的上適當ナル位置ヲ占メントスルノ主旨ハ同意ナルモ支隊ハ未タ攻撃計畫ヲ豫定スル爲ノ資料ナク單ニ地形眼ニテ之ヲ速斷スルトキハ或ハ敵ノ陷穽ニ陥ルノ虞ナシトセス故ニ主旨ハ同意ナルモ處置ヲ過早ト評セサルヲ得ス第四ノモノハ東海道方面諸井方面共ニ必要ト認メタルモノニシテ此顧慮モ支隊長爾後ノ爲腹案如何ニヨリテハ必シモ不可ナキモ敵ノ砲戰距離ニ接近シアルニ拘ハラズ縦ヒ夜間ナリト雖漫ニ兵力ヲ分散セシムルノ危險ヲ爲シタルモノニシテ稍敵ヲ輕視シタリト評セサルヲ得ス

二 宿營法ニ就テ

支隊歩兵ノ約半數若ハ大部ヲ以テ要線ヲ守備シテ夜ヲ徹セントスルニ方リ後
方部隊ヲ村落露營ヲナサシムル如キハ不可ナリ此際ハ最早萬事ヲ措テ一ニ戰
備上ノ顧慮ヲ以テ兵力ヲ集結シ之ヲ露營セシメアラサルヘカラス
諸官ノ中ニハ村落附近ニ露營シ多少掩蔽下ノ利用ヲ得セシメントスル意味ト
村落露營トヲ混同シアルヤノ感アリ(甲)ハ純然タル露營ニシテ(乙)ハ村落内ノモ
ノハ合營ヲナスモノニシテ其間ニハ逕庭アルコトニ注意セサルヘカラス但シ
後方ニ位置スル大行李(使用セサルモノ)ハ輜重ノ如キハ別物ナリ

三 警備ノ主義ニ就テ

諸官ノ考案ニヨレハ警備ニ關シテハ(甲)大部(寧ろ全部ト評スルヲ可トセン)ヲ以
テ防禦陣地ヲ占領スルモノ(乙)一部ヲ以テ防禦陣地ヲ占領スルモノ(丙)所要ニ應
ジ陣地ヲ占領シ得ル準備ヲナシ尙前哨區分ニ從ヒ警備スルモノトアリ戰鬪線
ヲ堀越川井新池ノ線附近ニ設ケントスルモノニアリテハ最早前哨ノ區署ニ基
ク警戒法ヲ實行スルノ餘地ナク番ニ煩ニ堪ヘサルノミナラス却テ危險ナリ若
本夜ノ敵襲ヲ重大視シ全力ヲ以テ防禦ヲ爲スヲ要スト感スルモノハ(甲)案ヲ採

用スルナランモ斯ノ如クスルトキハ爾後ノ行動ハ著シク掣肘セラルルニ至ル
コトニ注意スルヲ要ス敵兵一部ノ行動ハ之アランモ本日遭遇戰ヲ豫期シ相互
ニ前進シタル而モ薄暮ニ於テ位置移動ヲナシタル兩軍カ全部ヲ以テ本夜夜襲
ヲ爲スカ如キハ公算少シト判斷シタルモノハ(乙)案ヲ採用スルナラン而シテ(甲)
案ニアリテハ純然タル戰鬪配備ヲ以テ主旨ヲ一貫シ(乙)案ニアリテハ防禦線上
ノ要點ヲ占領シ主力ヲ控置スル所謂待機配備ヲ以テ主旨ヲ一貫シアラサルヘ
カラス

四 守備線ノ決定ニ就テ

諸官ノ守備ハ(甲)堀越川井高尾ノ線(乙)堀越川井西田新池ノ線(丙)堀越西田諸井東
北方高地ノ線ノ三種アリ(甲)ハ各方面ニ對シテ安全ニ而モ警備線ヲ短縮シ兵力
ヲ節約スルコトニ苦心シタルモノニシテ其苦心ハ諒トスルモ守勢的姿勢ニシ
テ爾後而モ恐ラクハ本夜中企圖スヘキ攻勢運動ノ爲ノ立脚地ヲ拋棄シタル感
アリ(乙)ハ東海道方面ヨリスル敵ノ攻撃ニ對スル顧慮ト東海道兩側敵陣地附近
ニ對スル偵察動作ニハ便ナルモ敵陣地ノ右翼方面ニ對スル顧慮薄キ感アリ(丙)

ハ(乙)ノ主旨ニ加フルニ我左翼方面ニ於ケル要地タル諸井東北方高地ハ爾後ノ行動上占領シアルヲ要スト判斷シタルモノニシテ其著眼ハ可ナルモ之ヲ占領シ置ク所以ノ目的ハ本夜ノ警戒ヨリモ爾後ノ行動上必要ナル主旨ヲ明確ナラシムルヲ要ス

五 部署ニ就テ

要務令第百八十七ノ第二項ノ前方及側方近距離ニ小部隊又ハ步哨斥候ヲ出シテ警戒ス云々ヲ本狀況ニ於テ如何ニ適用スヘキヤノ顧慮少ク漫ニ平坦地ニ於ケル要塞攻圍線上ノ前哨ノ如クナスモノアリ此際ハ正面ニ於テハ最早部隊ヲ出スノ餘地ナシ諸井以南ニハ一部隊ヲ出シ得又彼我ノ中間地帯タル山科木原彦島ノ線附近ニ潜伏斥候ヲ出スコトヲ逸シタルモノアリ
工兵中隊ハ本夜何レノ考案ニ基クモ大ナル作業ヲ要スヘシ又砲兵ハ萬一ノ場合ヲ顧慮シ陣地ヲ選定シ置クヲ要ス
部隊配置ノ順序ニ於テ諸井方面ニ前衛聯隊ヲ配置シタルハ距離ノ關係ナランモ本道ヲ第二次トシテ配備スルハ危險ナリ

第一聯隊ヲ第一線トシテ守備線ノ全部ヲ受持タシムルハ爾後ノ部署ニ大ナル不便ヲ生スルニ至ルヘシ

第七問題答解上ノ著眼

一 宿營地及宿營法

宿營地選定上顧慮スヘキ事項ハ多々アリト雖戰術上特ニ注意スヘキキハ爾後ノ企圖ヲ實行スルノ便ナルコト之ナリ

(附言) 宿營地選定上顧慮スヘキ事項左ノ如シ

- (イ) 敵情
- (ロ) 爾後ノ企圖
- (ハ) 友軍トノ關係
- (ニ) 交通連絡ノ難易
- (ホ) 土民ノ狀態
- (ヘ) 給養ノ便否

(ト) 衛生上ノ顧慮

支隊目下ノ狀況ニ於テ爾後ノ行動ハ明拂曉ニ於ケル敵陣地攻撃ノ爲便ナルコト之ナリ故ニ支隊ノ宿營地ハ敵情ノ許ス範圍ニ於テ此顧慮ヲ以テ選定セサルヘカラス

敵陣地ノ攻撃ニ就テハ敵陣地ノ地形ノミヨリ見ルトキハ若干主攻撃方面ヲ豫定シ得サルニアラサルモ敵ハ目下陣地設備中ニシテ其配備及設備ノ如何ニヨリテハ或ハ地形以外ノ理由ヲ以テ他方面ニ主攻撃ヲ施行スルノ有利ナルコトアルヤモ計ラレス故ニ支隊ハ敵陣地ノ正面、右翼、左翼ノ何レノ方面ニモ主攻撃ヲ施シ得ル如ク其位置ヲ選定シ動作ノ自由ヲ保有シ置カサルヘカラス之カ爲ニハ廣岡貫名附近ヲ適當トス此位置ハ東海道方面ハ勿論敵ノ兩翼方面ニ對シテモ不充分ナカラ野砲道ヲ有シ支隊ノ各方面ニ進出スルニ便ナレハナリ宿營法ニ關シテハ敵ニ接近シ何時如何ナル事變ヲ生スルヤモ計リ難ク特ニ兵力ノ集結ヲ要スルヲ以テ露營ノ必要アルヤ論ナキナリ但シ大行李輜重ノ如キ後方ニ位置セシムヘキモノハ此限ニアラス

二 本夜ニ於ケル警戒法

(イ) 警戒ノ種類

本夜ニ於ケル警戒ハ至嚴ヲ要スルヤ勿論ニシテ戰鬪準備ノ前哨ノ原則ヲ適用スヘキヤ異議ナカルヘシ要務令第八十七ニヨリ警戒至嚴ヲ要スル戰鬪準備前哨ヲ仔細ニ吟味スルトキハ左ノ三場合アルコトヲ知ルヘシ

- (1) 敵襲ニ際シ密接ナル防禦線ヲ形成シ得ル如ク防禦陣地ニ接近シテ前哨區分ニ基キ配置スルモノ
- (2) 一部ヲ以テ防禦線ヲ占領セシメ置クモノ
- (3) 全部ヲ以テ防禦陣地ヲ占領スルモノ

之ナリ本夜ニ於ケル警戒ハ敵兵陣地構成中ニシテ全力ヲ以テスル敵襲アルヘシトモ思ハレス彼我ノ間約四吉米ノ餘地アリ且中間地帯ニハ夜間ノ行動ヲ妨害スヘキ(我ヨリ見ルトキハ敵ノ行動ヲ察知スルニ便ナル)地物アルヲ以テ全部ヲ以テ防禦線ヲ占領シアルノ必要ナシ然レトモ敵一部ノ夜襲等ハ豫期シアラサルヘカラス故ニ何時ニテモ防禦陣地ヲ占領シ得ルヲ要ス而シテ我内部ノ地

形ハ夜間行動ノ稍困難ナル爲初日ヨリ一部ハ防禦陣地ヲ占領セシメ置クヲ安
全ナリトス故ニ予ハ一部ヲ以テ防禦陣地ヲ占領セシメ主方ハ後方ニ露營セシ
ムル種類ノ戰鬥準備前哨ヲ採用セントスルモノナリ

(附言)

(1)ノ場合ハ尙前哨ノ區分ヲ採ルモ(2)及(3)ニ至リテハ前哨ノ區分ヲ廢
シ守備ノ區分ヲナスコトニ注意スヘシ從テ以下述フル用語モ亦此主
旨ニヨリ説明ス

(ロ) 守備線決定

支隊本夜ノ守備線ヲ決定スルニハ左ノ事項ニ著眼セサルヘカラス

- (1) 敵ノ夜襲ニ對シ得ルヲ要ス
- (2) 翌拂曉攻撃ノ爲立脚地即チ本夜ノ諸偵察明朝ノ前進ニ便ナル如ク地歩
ヲ領有シアルヲ要ス
- (3) 本夜中攻撃計畫ヲ確定スルノ資料ヲ得ス明日晝間偵察ヲナスノ必要ア
ルニ際シ敵ノ攻勢移轉ヲ受ケタル場合之ニ對シ得ルノ準備ヲナシアル
ヲ要ス

(1)ノ要求ハ地形上敵ノ夜襲ハ鐵道線路以北ナルヘキ公算多キヲ以テ川井附近
ヨリ西田附近ニ亘ル線ハ堅固ニ守備シ得ルヲ要シ(2)ノ要求ハ川井、淺羽西端ノ
線附近ハ之ヲ領有シ置クヲ希望シ(3)ノ要求ハ敵ノ拂曉攻勢移轉ハ我右翼淺井
方面ニアルヘキヲ以テ同地東方及北方高地ヲ堅固ニ占領シ得ルノ準備ニアル
ヲ要スルコトヲ意味スルモノナリ

以上ノ著眼ニ基キ予ハ支隊本夜ノ守備線ハ東海道方面ニ於テ敵襲ヲ受クル顧
慮ヲ第一トシ爾後ノ攻撃陣地ノ地歩ヲ領有スルコトヲ第二トシテ次ノ如ク決
定セント欲ス即チ第一ノ守備線ハ川井北方無名小流ヨリ西田南方堤防ニ亘ル
線第二ノ守備線ハ諸井東北方高地附近トナスヲ可トス堀越以北鐵道線ト諸井
北方高地トノ中間地帯及篠谷附近ノ高地ハ連繫上一部隊ヲ以テ警備セシムル
ヲ可トセン

(ハ) 守備兵力

警戒ノ至嚴ナルニ從ヒ歩兵兵力ノ増大スルニ至ルハ勿論ニシテ其兵力ノ増大
ト共ニ漸次戰鬥配備ニ近接スルニ至ルモノナリ本狀況ニ於テハ主義ニ於テ未

タ完全ナル戦闘配備ニアラサルモ戦闘配備ノ基礎トシテ一部ノ陣地占領ナル
カ故ニ地區ノ要否及廣狹ヲ顧慮シ左ノ如ク其兵力ヲ規定スルヲ可トス

右地區(諸井東北方高地北端之ヲ含マス)步兵一大隊半、機關銃四(舊前衛タル第一大隊廣岡貫名南方高地附近ニ在ル第三大隊
ノ半部ヲ聯隊長ニ指揮セシム)

左地區(同地點以南)步兵一大隊、機關銃二(步兵第二聯隊第一大隊及機關銃二ヲ新ニ派遣ス)

(ニ) 偵察及警戒區域

偵察及警戒ノ區域ノ境界ハ高尾下地鐵道橋ヨリ南方約六百米集團部落北端、彦
島北端新貝馬山南端ヲ連スル線トス

警戒線ハ山科三叉路附近ヨリ土橋木原ヲ經テ彦島北端ニ亘ル線及彦島北端ヨ
リ原野谷川ニ沿ヒ中泉―横須賀道橋梁附近ニ亘ル線トナシ和口ヨリ下流ノ橋
梁ハ騎兵ノ一部ヲ以テ監視セシム

(ホ) 諸設備及守備並警戒部署ノ要圖
圖上ニアリ(本書ニハ之ヲ省略ス)

威力搜索之研究(想定)

狀況

日没稍前横井北方ヨリ前進セシ我將校斥候ノ目撃セシ所ニヨ
レハ向笠西篠原附近ノ高地斜面ハ急峻ナルノミナラス村落ノ
圍周ニハ堅固ナル籬笆アリテ部隊ノ運動困難ナリ又岩井西北
方圖上濕地ハ池ナリ、岩井西方高地ニハ一部隊工事ヲ施シ守備
シアリト、此斥候ハ後敵ノ驅逐スル所トナリ夫レ以上ヲ搜索ス
ルヲ得サリキ

午後八時乃至九時ノ間ニ於テ支隊ハ概ネ所望ノ配置ニ就ケリ
日没頃ヨリ横井、小山、玉越、明ヶ島、新貝、稗原、新出、和口ノ線附近ニ
ハ敵ノ監視部隊アリテ我斥候ハ全ク同線以西ニ進入スルヲ得

ス然レトモ諸種ノ徵候ヲ綜合スレハ三ヶ野坂上及新貝馬山附近ニハ依然敵兵存在スルモノノ如ク又岩井大久保、西貝塚、大久保附近ニモ火光其他ノ徵候ニヨリ或ハ敵兵存在スルニアラサルヤヲ疑ハシム午後九時三十分支隊長ハ軍司令官ヨリ左ノ要旨ノ命令ヲ受領ス

- 一 信スヘキ諜報ニヨレハ本日姫街道ヲ東進セシ敵ハ歩兵約四千砲八門ヲ有スルモノノ如ク別ニ混成一旅團ヲ下ラサル敵縱隊ハ本夕豊橋ニ達シ停止セリト
- 二 第一師團(先遣支隊欠)ヲ其地附近ニ急行セシム貴官ハ第一師團長其地到着セハ同官ノ隸下ニ復スヘシ

第一問題

午後九時三十分ニ於ケル東軍支隊長ノ決心

第一問題原案

支隊ハ明日偵察ノ結果ヲ利用シ引續キ敵陣地ヲ攻撃スル目的ヲ以テ新貝馬山附近ニ對シ威力偵察ヲナサントス

第二問題(宿題)

六月二十四日ニ於ケル東軍支隊威力偵察ノ部署(要圖答解)

第二問題答解ニ對スル總評

- 一 本作業ニ於テ威力搜索ノ特別目的及偵察ノ結果ヲ如何ニ利用スル意圖ナリヤヲ明記セサルモノハ價值少シ所謂佛ヲ作リテ魂ヲ入レサルノ感アリ
- 偵察ノ目的ヲ腹案スルニ方リ單ニ地形上ノ著眼ノミニ捕ハレ敵線ハ何レナリヤ敵翼ハ何レナラン等ノ著眼ニ乏シカリシ感アルハ不可ナリ宜シク敵トナリ

テ彼彼全般ノ狀況ヨリ如何ニ此附近ノ地形ヲ利用スヘキヤヲ先ツ考察シ次ニ陣地線又ハ陣地ノ翼等ニ及フヘシ

二 偵察隊ヲシテ敵陣地ノ某點ヲ攻撃セシメタルモノアルモ之誤解ノ甚シキモノナリ如斯スレハ即チ敵ニ各個擊破ノ好餌ヲ呈スルニ至ラン本狀況ノ如キ偵察ニアリテハ偵察隊ハ後ニ至リ攻撃部隊トナルナランモ夫ハ指揮官ノ攻撃計畫立チタル後ニシテ最初ハ偵察隊ニシテ其任務ハ偵察ナラサルヘカラス
偵察隊ヲ特ニ二個以上ヲ出スモノニアリテハ拂曉ノ位置、爾後進出スヘキ位置、偵察區域、特ニ偵察スヘキ點ヲ示スヘキモノトス

三 砲兵ノ使用ニ方リ一部ヲ控置シタルモノアルモ斯ノ如キ少數ノ砲兵ハ全部ヲ使用スルヲ可トス之砲兵ノ多キニ從ヒ偵察ニハ益々好都合ナレハナリ茲ニ於テカ偵察砲兵、攻撃砲兵ノ二個ノ戰術任務ヲ如何ニシテ一個ノ大隊ニ服務セシムヘキヤニ就テハ研究ヲ要スヘク攻撃計畫確定ト共ニ陣地變換ヲナサシメントスルカ如キハ策ノ得タルモノニアラス

四 主力ノ位置及姿勢ハ各自ノ案ニ就キ狀況ノ推移ニ應シ得サルヘカラス而シ

テ偵察隊ヲ孤立セシメサル爲比較的接近シアルヲ要スルト敵前ニ於テ側方移動ヲ避ケン爲比較的遠ク位置スルヲ要スルトノ相反スル要求ノ下ニ定メラルルヲ要ス故ニ爾後使用上ノ腹案如何ニヨリテハ數箇所ニ分置スルモ可ナリ強テ一箇所ニ集結スル爲遠ク後方ニ置クカ如キハ敵ノ攻勢移轉ニ思ハサル失敗ヲ招クコトアリ

諸官ノ中ニ主力ヲ攻撃準備ノ位置ニ就カシメ置クト稱スルモノアルモ恐ラクハ誤解ナルヘシ何トナレハ攻撃計畫定マラサルニ該位置ヲ占メ得ヘキ理ナケレハナリ

五 此際騎兵中隊ニハ歩兵支援隊ヲ附シ之ヲ太田川右岸ニ推進シテ敵ノ側背ヲ搜索セシメサルヘカラス

第二問題答解上ノ著眼竝部署ノ概要

一 敵情判斷

本敵情判斷ノ目的ハ敵兵如何ナル主旨ニヨリ見附東方高地附近ヲ利用スヘキ

ヤヲ考察シ威力搜索ノ爲ノ着眼點ヲ求メントスルニ在リ
 前面ノ敵ハ一日後ニハ混成約一旅團ノ増加ヲ得ヘキヲ以テ此兵團ノ來著迄支
 隊ニ對シテ持久戰ヲ交ヘントスルノ企圖ヲ有スルコトナシトセス果シテ然ラ
 ハ見附東方高地附近ヲ見ルニ地形其モノハ永ク持久戰ヲナシ得ヘキ地形ニア
 ラス故ニ敵ニシテ既ニ得タル地步ヲ捨テサラント欲セハ成ルヘク決戰ヲ遲延
 スルノ工夫ヲナスヲ要スヘシ此點ヨリ見ルトキハ支隊ニシテ東海道方面ヨリ
 主力ヲ以テ攻撃スルトキハ急峻ナル斜面ト前方開濶ナル射界トヲ利用シテ戰
 闘ヲ持久シ已ムヲ得サルトキハ支隊ノ斜面攀登ニ乘シ逆襲的ニ決戰ヲナスコ
 トアルヘシ支隊若鎌田方面ヨリ主攻擊ヲ施ストキハ東海道ヨリ鎌田ニ亘ル全
 線ヲ守備スルハ敵兵力ニ比シ正面大ナルト鎌田附近ハ支隊ノ爲ニ包圍ヲ受ク
 ル虞アリ且歩砲同線ナルノ害アリテ決戰ヲ速ナラシメラルルノ虞アリ故ニ寧
 ロ臺上ニ於テ支隊ノ砲兵ヲ使用シ得サル時機ニ決戰ヲ求メントスルヤモ計ラ
 レス此場合ニ於テハ三ヶ野坂上附近ヲ支隊東海道方面ヨリスル主攻擊ニ對シ
 據點トナシ臺上ニ於ケル決戰ニ於テハ左側據點トナスヲ有利トナス又臺上ニ

於テ決戰ヲナス場合ニ於テハ成ルヘク決戰ヲ遲延スルト同時ニ支隊ノ臺上ニ
 立脚地ヲ占ムルコトヲ妨害シ有利ナル攻勢移轉ノ機ヲ捕ラル如ク鎌田附近ハ
 一部隊ヲ以テ占領スルナラン而シテ敵ノ攻勢移轉ノ時機ハ支隊ノ臺上ニ進出
 スル時機其一ナリ三ヶ野坂上西貝塚大久保ノ線ヲ占領シ前面ノ開濶地ヲ利用
 シテ火力ヲ以テ我ニ對シ兵力ノ均衡ヲ得テ攻勢ニ移轉スル其二ナリ第二ノ場
 合ハ一見敵兵後退配備ヲナセル主旨ニ合セサル如キモ敵ニシテ多少持久ノ意
 志ヲ有シ而モ北方ニ退路ヲ變シ後續兵團ヲ中泉方面ヨリ進出セシメントスル
 ニハ關係位置適當ナルト又廣大ナル高地線ヲ守備スルニ比シテ寧ロ戰鬥ハ鞏
 強ナリ我支隊ノ右翼包圍ハ西貝塚大久保西貝塚城之崎ノ高地線ヲ利用シテ防
 止シ得ルニ於テ殊ニ然リ此點ヨリ見ルトキハ各一部ヲ以テ三ヶ野鎌田ノ線附
 近主力ハ三ヶ野坂上西貝塚大久保ノ線ニ陣地ヲ占メアルヤモ計ラレス
 前面ノ敵ハ歩兵二大隊砲兵一中隊丈支隊ヨリ少數ナリト雖地形ヲ利用スルト
 キハ支隊ニ對シテ獨力攻勢企圖ヲ實施シ得ヘシ即チ敵ハ純然タル決戰ノ意志
 ヲ以テ支隊ニ對スルコトアルヘシ此見地ヨリ見ルトキハ敵兵線端ニ於テハ支

隊カ東海道方面ヨリ攻撃スレハ高地ノ縁端ニテ火力ヲ以テ、鎌田方向ヨリ攻撃スルトキハ同地ヲ守勢地帯トシテ稍機動的ニ攻勢防禦ヲ企圖シ得ヘク又敵ハ岩井大久保、西貝塚大久保ノ線上ニ純然タル後退配備ヲナスコトモ之ナシトセス但シ此場合ニハ支隊ノ臺上ニ進出スル際過ヲ犯ス外ニ攻勢移轉ノ有利ナル時機ナキカ如シ

三ヶ野坂上、新貝馬山、岩井大久保、西貝塚大久保ノ四點ノ状態ハ支隊長ノ特ニ知ラント欲スル所ナルヘシ

二 本偵察ノ特別目的

本偵察ヲナスノ動機ハ敵陣地ニ關シ三ヶ野坂上、新貝馬山、西貝塚大久保ノ三箇所敵兵存在ノ状態ト見附東方高地ノ地形上森林障礙トナラサル爲(假定)敵ハ高地縁端配備ヲナシアルヤ後退配備ヲナシアルヤヲ知ラント欲スルモ他ニ方法ナキト攻撃ヲ急ク爲ナリ而シテ之ヲ偵察スルニハ果シテ如何ニセハ可ナルヤ是即チ本偵察ノ爲ノ特別目的ヲ生スル所以ナリ

(注意) 偵察ニハ敵陣地ニ關スル事項ヲ知ル爲ノ一般目的ト某事項ヲ看破セ

ンカ爲ノ特別目的トアルコトニ注意スヘシ之名ハ同シク偵察ナレトモ其實施ノ内容ハ特別目的ニ由リ著シク差異アルヲ以テナリ

本偵察ノ特別目的ハ新貝馬山附近カ敵ノ本陣地ナリヤ前進陣地ナリヤヲ偵察スレハ大體ノ狀況ヲ明ニスルヲ得ヘシ之先ニ支隊長主トシテ新貝馬山附近ヲ偵察スルノ意志ナリシ所以ナリ

但シ此特別目的達成ト同時ニ偵察一般ノ目的タル此附近ニ於ケル陣地ノ状態ヲモ知ルコトヲ努ムルハ勿論ナリ

三 偵察結果利用ノ着眼

偵察ノ結果新貝馬山附近ニシテ前進陣地ナルトキハ偵察部隊要スレハ之ニ一部ヲ増加シテ直ニ之カ攻撃ヲ命スヘク若敵ノ本陣地ナランニハ偵察部隊ニ主力ヲ増加シ引續キ所望ノ地點ニ主攻撃ヲ施ササルヘカラス

四 支隊主力方面ノ概定

本狀況ニ於テ支隊主力ノ使用方面ヲ概定シ得ルヤ否ヤ曰ク然リ之ヲ概定シ得ヘシ敵陣地ニシテ高地縁端ニアル場合ニ於テモ主力ヲ鎌田方面ニ使用スルヲ

有利トシ半側面的後退配備ニアリテモ比較的敵線ニ遠キ鎌田方面ヨリ臺上ニ立脚地ヲ占ムルヲ有利トナスカ如シ敵ニシテ併行的後退配備ヲナストキハ新貝西方附近ヨリ鎌田間ニ立脚地ヲ占ムルヲ要ス故ニ主力ハ大體ニ於テ新貝以南ノ地區ニ使用スルコトヲ概定シ得(此際ハ我ハ臺下ニ於テ準備シ得ル爲側敵運動モ危険少シ)支隊ニシテ主力ヲ鎌田方面ニ使用スルニ際シ東海道方面ヨリ敵ノ攻勢移轉ヲ見ルコトナキニアラサルヘキモ鐵道線路以北ノ開濶地ト諸井東北方高地トニヨリ之ヲ拒止シ攻撃ヲ加ヘ得ヘシ若夫レ敵兵東海道ヲ直進スルモノニ對シテハ支隊ノ後方連絡線ヲ一時海岸方面ニ變換スルノ舉ニ出ツレハ足ル但シ一小部隊ヲ以テ東海道ヲ警備セシムルヲ要スルハ勿論ナリ退路變換ニ關シテハ軍司令官ニ意見ヲ具申シ認可ヲ受クヘキヤ勿論ナリ

五 偵察隊ノ兵力

偵察部隊ノ兵力ハ我偵察目的ト知り得タル敵兵力ニ基キ之ヨリ出ス前進部隊ノ兵力ヲ推測シ(他ニ根據ナキヲ以テ學理的ノ推定ヲ用フ若夫レ特定ノ敵ニ對

六

偵察隊ノ概要、進出線並主力最初ノ位置

シテハ其國ノ慣用戰法ヲモ參酌スヘキコト勿論ナリトス(偵察隊カ引續キ攻撃部隊トシテ前進陣地ヲ奪取シ得ルト已ムヲ得サレハ一部ヲ增加ス)本陣地ナル場合ニ於テモ緒戰部隊トシテ主力ノ戰鬪參加ヲ容易ナラシメ得ル(管ニ兵力ノミナラス位置ノ選定ト行動上ノ注意ヲ要スルハ勿論)コトヲ基礎トシテ之ヲ決定スルナリ故ニ予ハ本狀況ニ於テハ步兵約二大隊半ヲ使用セントス若夫レ砲兵ニ至リテハ主力使用方面ヲ概定シ得ル本狀況ニ於テハ全部ヲ使用スルヲ可トス

偵察隊ノ區分及任務ハ左ノ如クナルヘシ

三ヶ野坂上附近ノ狀態ヲ偵察シ要スレハ爾後該方面ヨリ助攻部隊トナス目的ヲ以テ步兵二中隊、機關銃二ヲ右偵察隊トシテ派遣ス此部隊ハ成シ得レハ戰術單位タル步兵一大隊ヲ希望スルモ支隊兵力ノ僅少ナルト主力ヲ集結シテ使用スル願慮上實ハ已ムヲ得サルモノトス

鐵道線北側ノ新貝西方高地ヲ偵察セシムル目的ヲ以テ中央偵察隊トシテ步兵二中隊、機關銃二ヲ派遣ス

新貝馬山附近ノ状態ヲ偵察シ爾後攻撃實行部隊若ハ緒戰部隊トナス爲聯隊長ノ率フル一大隊半、機關銃四ヲ左偵察隊トシテ派遣ス

中泉―淺名道方面ヨリ鎌田南側地區ヲ偵察シ且必要ニ應シ側背ヲ掩護セシムル爲步兵一中隊ヲ該方面ニ差遣ス

騎兵中隊ニハ步兵一小隊ノ支援ヲ附シ東新屋方向ヨリ敵ノ右側背ヲ搜索セシム(斥候ヲ以テ豊橋方面ノ敵情ヲ搜索スルハ勿論ナリ)

偵察隊ノ進出スヘキ線ハ支隊長之ヲ規定セサルヘカラス數隊ヲ出スニ於テ殊ニ然リ之カ爲ニハ敵歩兵ヲシテ暴露シテ我ニ對セサルヘカラサル距離ニシテ而モ敵ニ攻勢移轉ノ動機ヲ與ヘサル程度ナルヲ要ス本狀況ニ於テハ東海道方面ハ玉越其他ハ太田川ノ線附近ヲ適當トス(時トシテ攻撃目標ヲ示シテ攻撃ヲ命スルコトアルハ總評ニ述ヘタルカ如シ)

砲兵ノ使用ハ此際特ニ注意ヲ要ス之カ爲ニハ左ノ三件ヲ顧慮スルヲ要ス

- (1) 緣端及臺上ノ偵察ヲナシ得ルヲ要ス
- (2) 前進陣地ナルトキハ之ヲ驅逐スルニ協力スルト同時ニ臺上ニ立脚地ヲ

領有スル爲速ニ隨伴シ得ルヲ要ス

- (3) 本陣地ナルトキハ攻撃點ヲ射撃スルト同時ニ陣地變換ヲナサヌシテ而モ敵ノ攻勢移轉ノ方面ヲ射撃シ得ルヲ要ス

(1)ノ爲ニハ多少遠距離ナルモ諸井東北方高地ヲ可トシ(2)及(3)ノ爲ニハ淺岡八幡附近ヲ可トス茲ニ於テカ僅々一大隊ナルモ一箇所ニテハ此二個ノ目的ヲ達成スルコト困難ナルト晝間ニ於テ屢次ノ陣地變換ヲ避クル爲予ハ一中隊ヲ諸井高地、二中隊ヲ淺岡八幡附近ニ出サントス

主力ハ新貝馬山附近ニ敵本陣地ヨリ且敵兵其南方地區ヨリ攻勢ニ轉シ來ル場合ヲ顧慮スルヲ第一トナシ敵兵半側面後退ノ場合ヲ第二トシ併行的後退ノ場合ヲ第三トナシ決定シ置クトキハ大ナル誤ナシ之カ爲一箇所ニ集結シテ諸種ノ要求ニ應シ得レハ可ナルモ本地形ニ於テ偵察隊ヲ孤立セシメサル程度ニ敵陣地ニ接近スレハ敵本陣地高地緣端ナルトキ更ニ攻部署ヲ補綴スルニ際シ臺上ノ敵砲兵火ニ暴露シテ側面運動ヲ要スルヲ以テ予ハ許多ノ場合ニ於テ主力カ鎌田高地ニ使用セラルヘキト或ハ少クモ一部新貝西方高地方向ニ使用ス

ル場合トフ願慮シ左ノ如ク二箇所ニ梯次スルヲ適當ト認ム

中央偵察隊ト同聯隊ノ一大隊機關銃ニテ諸井ニ他聯隊ノ主力ヲ淺羽附近ニ位置シ偵察隊太田川ノ線ニ進出シタル時機ニハ松袋井、淺岡附近ニ位置セシム

狀況

午後五時諸隊ハ概ネ所望ノ位置ニ就クヲ得タリ此日霧深クシテ遠望ヲ許サス只木原方向ニ方リ時々小銃聲ヲ耳ニスル外知ル所ナシ

午前七時霧晴レ砲兵ハ三ヶ野坂上、新貝西方高地、科明神社ノ高地ニ向ヒ射撃ヲ開始シ各偵察隊ハ玉越明ヶ島、稗原、新出附近ニ在ル敵ノ監視部隊ニ對シ攻撃ヲ開始セリ敵ノ監視部隊ハ暫時抵抗ノ後逐次退却ニ就ケリ

午前八時偵察隊ハ玉越西端、明ヶ島、稗原附近太田川左岸ノ線、歩兵第二聯隊第五中隊ハ新出西端、騎兵中隊、歩兵第二聯隊第四中隊ノ一小隊ヲ附スハ東新屋ノ線ニ達シ各當面ノ敵ニ對シ射撃ヲ開始セリ

午前九時各方面ノ戦闘ハ漸次激烈トナリ砲兵ハ時々岩井大久保附近ニ向ヒ探射ヲナシツツアリ、支隊主力ハ松袋井、長溝附近ニ在リ

午前十時諸報告及支隊長ノ目撃ニヨリ知り得タル所ヲ綜合スレハ次ノ如シ

三ヶ野坂上附近ノ高地線ニハ堅固ナル工事アリテ敵兵之ヲ守備ス其兵力ハ未タ明カナラス而シテ岩井西方、 Δ 239 高地ハ敵ノ一部隊工事ニ據リテ守備シアリ

明ヶ島西方◎30.4高地ニハ工事アルモ監視兵ノミニテ未タ部隊ヲ見ス

新貝西方高地ニハ敵兵約一中隊工事ニ據リテ守備シアリ

新貝馬山北方無名寺高地ニハ約一中隊ノ敵兵工事ニ據リ之ヲ守備ス

新貝馬山東側ヨリ神明神社高地ヲ經テ鎌田北端附近ニ亘ル線ニハ堅固ナル工事アリテ敵兵之ヲ守備ス其兵力ハ不明ナリ又其西方墓地(推定ノミ)附近ニハ砲數不明ナル敵砲兵アルカ如シ

西部鎌田南端附近ハ一二小隊ノ敵兵之ヲ守備ス

西之島附近ハ敵騎徒步ニテ之ヲ守備シアリ

岩井大久保東側高地ニハ人馬ノ出沒スルヲ見ル而シテ同地

ニハ砲兵掩體ノ疑アル掘開土ヲ見ル又同地ト鎌田附近トハ人馬ノ往復頻繁ナリ
三ヶ野坂上南側・志附近、西貝塚東北方高地上ニハ掘開土ラシキモノアルヤノ疑アリ

第三問題

午前十時ニ於ケル支隊長ノ敵陣地判斷

第三問題原案

次ノ狀況上ニ示ス

狀況

午前十時支隊長ハ敵力鎌田北方附近ニ前進陣地ヲ占領シ三ヶ

野坂上、西貝塚、大久保ノ線ニ半側面的ニ後退配備ヲナシアルモノト判斷シ先ツ敵ノ前進陣地ヲ奪取スルニ決シ電話ヲ以テ各部隊ニ所要ノ命令ヲ傳達ス

第四問題

前進陣地攻略ノ爲東軍支隊ノ部署(大行李、輜重省略)

第四問題原案

次ノ狀況中ニ示ス

狀況

支隊長ノ取りタル部署ノ要旨左ノ如シ

- (1) 歩兵第二聯隊長ニ中央偵察隊及左偵察隊ヲ併セ指揮シ新貝馬山附近ノ敵陣地ヲ攻撃セシム
- (2) 歩兵第一聯隊第一大隊(第三、第四中隊欠)機關銃二ハ東海

道方面ヨリ三ヶ野坂上ノ敵陣地ヲ攻撃シ歩兵第二聯隊ノ攻撃ヲ容易ナラシム

- (3) 歩兵第二聯隊第五中隊ハ鎌田南側ノ敵ヲ攻撃シ歩兵第二聯隊ノ攻撃ヲ容易ナラシム
- (4) 砲兵ノ主力ハ新貝馬山南方高地附近ヲ射撃シ歩兵第二聯隊ノ攻撃ヲ容易ナラシム
- (5) 主力ハ左ノ如ク行動セシム
歩兵一大隊機關銃二ハ東海道ト鐵道線路ノ中間地區ヲ殘餘ノ部隊ハ鐵道線路南側地區ヲ共ニ第一線部隊ニ續行ス
- (6) 騎兵第一中隊(支援隊ヲ附スルコト如故)ハ西之島方向ノ敵騎ヲ驅逐シ該方向ヨリ敵ノ側背ヲ搜索セシム
- (7) 衛生隊ハ松袋井西端附近ニ開設セシム

(大行李輜重省略)

午前十時三十分乃至午前十一時頃迄ニ支隊長ノ意圖各部隊ニ傳ハリ同時頃ヨリ概ネ支隊長意圖ノ如ク各部隊共逐次攻撃前進ニ移レリ

威力偵察ニ關スル原則的説明

(一) 意義及利害

威力搜索威力偵察ト稱スルハ搜索直接手段トシテ威力ヲ用フルモノ詳言スレハ軍隊指揮官統一部署ノ下ニ搜索事項ノ探知手段トシテ交戦ヲ用フル搜索法ヲ總稱スルモノナリ

陣中要務令第九十四ニ於ケル歩兵部隊又ハ支隊ノ派遣ノ如キハ二様ニ解スルヲ得ヘキ中間性質ノモノナリ即チ軍隊指揮官ノ統一ノ下ニ部隊ヲ派遣シ該部隊相當ノ威力ヲ發揚シテ搜索セシメントスル點ヨリ見レハ一種ノ威力搜索ト

謂ヒ得ヘク苦該部隊ノ動作ニシテ敵ノ掩蔽幕ヲ打破シ視察眼ヲ推進スル爲ノミニ威力ヲ用ヒ實際求ムル所ノ搜索事項ヲ探知スルニハ視察ヲ用ヒタリトセハ此等部隊夫レ自身ヨリ見ルトキハ威力ヲ用ヒタル搜索法ニハアラサルナリ換言スレハ廣義ニ解スレハ威力搜索ト見得ルモ狹義ニ解スレハ威力搜索トハ稱シ難キカ如シ要スルニ此等ハ軍隊指揮官ノ統一部署部隊ノ動作ノ何レカ一方ニ就テ威力搜索ヲ解セントスルヨリ生スルモノニシテ元來威力搜索ハ此二者ノ存在ニヨリ完璧ナルモノナルコトヲ逸シタルモノナリ故ニ此ノ如キ場合ハ強テ威力搜索ナリ又ハ否ラスト限定スルコトナク中間ノモノトシテ取扱フヲ至當トナスモノナリ列國中ニハ小部隊ヲ以テ單ニ敵ノ警戒幕ヲ打破シ後視察ヲ行ハントスルモノヲ強行偵察ト稱スルモノアリ

威力搜索ニ關スル利害ハ諸書ニ散見スルヲ以テ茲ニ之ヲ省略ス而シテ從來此種偵察ハ弊害大ナルヲ以テ他ニ搜索手段ナク萬已ムヲ得サルトキニ採用スヘシト云フニ歸著シ居レリ那翁第一世ハ此種偵察ニ關シ言ヲナシテ曰ク

「無能ニシテ決斷ニ乏シキ指揮官ハ戰鬪開始前威力偵察ヲナサントスル

最近日露戰役ノ結果ニ於テモ果シテ同様ナリシヤ將又多少ノ變化ヲ認ムヘキヤ將來ハ如何ナル價値ヲ有スヘキヤ等ハ之ヲ各種類ニ就キ研究スルヲ要スルモノナリ

(二)

種別

威力偵察ハ目的及實施法ノ如何ニヨリ大別シテ之ヲ三種トナスコトヲ得即チ次ノ如シ

(甲) 偵察隊(支隊)ヲ以テスルモノ

(乙) 砲戰ヲ主トスルモノ

(丙) 強大ナル歩兵及砲兵ヲ以テスルモノ

(甲)ハ彼我兩軍ノ主力稍遠隔シテ相對時スル場合等ニ稍遠距離ニ支隊ヲ派遣シテ搜索セシムルモノニシテ成シ得レハ砲兵ヲ有スル騎兵ヲ用フルヲ有利トス地形其他ニヨリ歩兵部隊ヲ主トシテ用フルコトアリ又必要ニ應シ諸兵連合ノ支隊ヲ出スコトアリ

(乙)ハ彼我砲戰距離ニ相對スル場合等ニ砲兵ノ一部要スレハ主力ヲ用ヒ敵陣地ヲ砲擊セシムルモノナリ

(丙)ハ我軍總攻撃ノ端緒トシテ強大ナル歩兵砲兵ヲ以テ攻撃ヲ行ヒツツ搜索セントスルモノニシテ所謂緒戰的ノモノナリ

(附言)

前述三種ノ外諸官ハ陣中要務令第九十五ヲ解シテ小ナル歩兵及砲兵ヲ以テスル攻撃ニヨル搜索法ヲ云々スルモノアラン勿論此ノ如キ場合モ之アルヘシ然レトモ仔細ニ吟味スルトキハ此場合ハ砲戰ヲ主トシ掩護其他ノ關係上一部ノ歩兵ヲ前方ニ派遣シタルモノト同一ナルヘシ換言スレハ(乙)ノ場合ニ於テ連繫上一部ノ歩兵ノ行動シタルモノト看做シ得ヘシ故ニ予ハ強ヒテ之ヲ特別ナル種類中ニ分類セス

以上ハ判然區別シ得ヘキモノニ就テ述ヘタルモノナリト雖威力搜索ハ右三者中ヲ彼此相混用シ種々特例ヲ生スルモノニシテ理論ノ如ク常ニ必シモ判然タルモノニアラス即チ今次ノ如キ場合アリトセン

兩軍近ク相對シアルニ際シ敵軍退却ノ徵アリ若退却スルナラハ直ニ總攻撃

ヲ施行スヘク否サル場合ニハ總攻撃ハ之ヲ遲延スルヲ要スルトキ
右ノ場合ニ於テハ其手段トシテハ戰鬪離脱ニ困難ナラサル程度ニ歩兵ノ小部
隊ト砲兵ノ一部又ハ主力ヲ以テスル戰鬪ニヨルナラン此種搜索ヲ見ルニ次ノ
如ク解シ得ヘシ

- (1) (甲)ノ場合ノ稍遠距離ニ歩兵部隊ヲ派遣(要務令第九十四)スルニ代ヘ近距離ニ歩兵部隊ヲ派遣シ之ニ(乙)ノ場合ノ砲撃ヲ併用シタルモノト見ルヲ得ヘシ
- (2) (甲)ノ場合ノ支援的(砲兵ハ專屬ニアラサルモ其動作上ヨリ見テ)ノモノヲ派遣シタリト解スルモノアルヘシ
- (3) (乙)ノ場合ノ砲撃ノ際砲兵ノ掩護又ハ他ノ關係上一部ノ歩兵ヲ前方ニ派遣シタルモノト解スルモノアルヘシ
- (4) (丙)ノ場合ニ於テ強大ナラサル歩兵ト砲兵トヲ以テ攻撃シタルモノ即チ要務令第九十五ノ強大ナル歩兵及砲兵ノ攻撃スル場合ニ對照シテ如斯ク解セントスルコトモアリ得ヘシ

以上ノ差異ヲ生シタル所以ハ(1)指揮官偵察機關使用上ノ動機及其操縱法(2)偵察機關ノ動作(3)偵察結果ノ利用法中ノ三者ノ何レカ一方ニ偏重スルヨリ生スルモノナリ予ハ如斯學究的ノ區分ハ何レト解スルモ可ナリ況ヤ一方ニ偏シテ之ヲ限定スルハ反テ運用ノ妙ヲ損スルモノナルヲ以テ其解釋ノ如キハ諸官ノ隨意ニ一任セントスルモノナリ諸官ハ宜シク現時ノ狀況ニ應シ活用ノ途ヲ會得セラレシコトヲ切望ス

(三) 各種偵察ヲ用フル場合及其要領

威力搜索モ嚴密ニ研究スレハ種々多様ナリト雖活用上ノ基礎ヲ會得センニハ前述三種ノ場合ニ就キ研究スレハ足ルヲ以テ以下該三種ニ就キ若干解説ヲ試ミントス

(甲) 偵察隊ヲ用フル場合

近時火器ノ進歩築城術殊ニ陣地隱匿手段ノ巧緻ヲ致シ普通ノ搜索殊ニ地上搜索ノミニテハ敵情ノ偵察困難ヲ來シタルハ爭フヘカラサル事實ニシテ少クモ敵ノ掩蔽幕ヲ突破シ敵陣地ノ一部ヲシテ餘儀ナク暴露セシムルノ方法ヲ講セ

サレハ敵情ヲ得難キハ日露戰ニ於テ吾人ノ實驗シタル所ナリ一例ヲ舉クレハ該戰役終期奉化(露軍)及昌圖(日軍)ノ線ニ於テ兩軍相對峙セシ時ノ如キハ彼我共ニ數多ノ支隊ヲ本陣地ノ前方ニ配列シテ掩護ニ任シ且屢偵察隊ヲ出シテ敵ノ掩護隊ヲ驅逐シテ之ヲ本陣地ニ壓迫シ本陣地ヲ暴露セシムル爲偵察戰常ニ絶ヘス其回数ヲ重スルニ從ヒ遂ニ敵ノ本陣地ヲ略推定シ得ルニ至レリ過去戰役ニ於テ已ニ然リ將來ノ會戰ニ於テモ陣地戰特ニ稍長ク相對峙スル場合ニ於テ此種ノ偵察法ヲ利用スル場合少カラサルヘシ果シテ然ラハ此種偵察法ハ從來人口ニ膾炙スル如キ弊害ヲ有スルモノナリヤ否ヤ

(1) 小部隊カ敵ノ監視隊等ヲ驅逐シテ敵本陣地ノ一地點ニ向ヒ交戰ヲ挑ムニ際シ敵ハ全ク應セサルヲ得ルヤ

一小部隊ノ交戰ニヨリ全體ヲ知ルノ不可能ナルハ固ヨリナリト雖偵察隊ノ大小相應ニ敵一部ノ暴露ヲ望ムヲ得ヘシ之敵ハ前方部隊退却ノ收容及其局部ニ得ケル自衛上必然ノ事ナレハナリ偵察隊ノ兵力稍大ニシテ其行動ノ巧ナル場合殊ニ然リ故ニ此種ノ偵察隊ヲ各主要ナル方面ニ要スレハ數回之ヲ

派遣シ各其報告ヲ綜合スレハ稍長キ時日間ニハ敵本陣地ノ狀態ヲ知り得ルニ至ルヘシ而シテ單ニ此點ノミヨリ見ルトキハ偵察隊ノ兵力ハ稍大ニシテ而モ諸兵連合特ニ砲兵ノ大ナルヲ希望スト云ヒ得ヘシ

(2) 偵察隊ノ知り得タル敵情ハ我本軍ノ行動開始ノ際既ニ變更シアラサルヤ此疑問ハ偵察ノ時ト本軍行動開始ノ間ニ時日ヲ隔ツルニ從ヒ愈大ナルヘシ否一部變更殊ニ兵力ノ配置等ハ之ヲ豫期セサルヘカラス然レトモ堅固ニ陣地ヲ設備シ而モ最善ヲ盡シタリト考フ敵ニシテ一偵察隊ノ現出ニヨリ全然其陣地配備殊ニ設備ヲ變更スル如キハ實際ニ於テ有リ得ヘカラス故ニ變更アリタリトスルモ補修又ハ補備ニ過キサカ未完成ノ部ヲ完成スルニ止マル位ノモノナラン此點ニ就テ見ルトキハ此種ノ偵察ハ野戰ニ於ケル運動戰ニ用ヒラレス堅固ナル陣地ノ攻防殊ニ兩軍稍長ク相對峙スルトキ用ヒラルルモノト云フヘシ否此場合ニ於テ初メテ偵察隊ノ派遣ノ必要ヲ生シ又之ヲ許スモノト云フヘシ

(3) 偵察隊ノ現出ハ偶以テ敵ニ攻勢移轉ノ動機ヲ與ヘサルカ

此種ノ行動ハ敵ノ性質特ニ其慣用戰法ニヨルヲ以テ茲ニ之ヲ斷言シ難キモ凡ソ堅固ニ陣地ヲ設備シテ敵ヲ待ツ防者ニシテ一ニ偵察隊ノ現出ニ眩惑セラレ此等部隊ニ喰ハレンカ爲ニ大ナル攻勢移轉ヲ行ヒ陣地外ニ於テ本戰ヲ惹起スル如キ行動ハ殆ト稀ニ見ル所ナラン若斯ノ如キ行動ヲ敢行スル敵兵ナランニハ攻者ハ之ヲ利用シテ陣地前ニ於テ決戰ヲナスノ利益ヲ享有スルコトアルヘシ然レトモ敵兵我偵察隊ノ現出ヲ嫌ヒ相當ノ兵力ヲ以テ之ヲ擊退セントスルハ有リ得ヘキ事ナルヲ以テ此點ヨリ見ルトキハ偵察隊ハ目的ノ達成上妨ナクンハ兵力ノ小ナルヲ可トスルニ至ルヘシ偵察隊ノ兵力過大ニシテ防者之ヲ撃ツハ攻者ニ對シ部分的勝利ヲ獲得スルニ十分ナル價値アリト認ムルトキハ防者ハ攻勢ニ轉スルハ必然ナレハナリ

(4) 得タル結果ハ失フ所ト相償ハサルニアラサルカ
偵察隊ノ兵力大ニシテ而モ近距離マテ敵陣地ニ近接シタル場合ニ於テハ戰鬪脫離ノ困難ニシテ且多大ノ損害ヲ受クヘキハ固ヨリ之アルヘシ然レトモ近時進歩セル火器ノ遠大ナル射程、地物利用ノ爲ノ戰鬪ノ韌強性、夜暗利用ノ

撤退ヲ巧ニ利用スレハ希クハ其害ノ大部ヲ消除スルヲ得ンカ之カ爲ニハ偵察隊ノ編組、派遣スヘキ地點、現出ノ時機及指揮官其人ノ指揮法ノ巧拙ニ關スルコト大ナリ故ニ偵察隊長ノ人選ニハ意ヲ用ヒサルヘカラス

(5) 指揮官意圖外ノ戰鬪ヲ惹起スルコトナキヤ

偵察隊ノ後方ニ近ク諸部隊ノ存在スル場合ニハ或ハ人情トシテ此過ヲ犯スコトナシトセス然レトモ稍、遠隔セル距離ニ獨立シタル偵察隊ヲ派遣スル場合ニハ此害ヲ生スルコトナカルヘシ稀ニ之アリトセハ寧ロ防者ノ無謀ナル攻勢移轉ヲ利用シ戰勝ヲ獲得シ得ヘキ好機ナルヘシ
以上ノ論旨ニ基キ結論ヲ求ムレハ一部ノ害ハ之アルモ其利ノ大ナルコトモ亦承認スルヲ得ヘシ而シテ之ヲ應用シ得ル場合ハ兩軍稍、長ク相對峙シ而モ稍、大ナル距離ヲ隔テアル場合換言スレハ堅固ナル築城陣地ノ攻防等ニ於テ生スルモノト見ルヘシ時間ヲ特ニ貴重トスル野戰ノ運動戰ニハ稀ニ應用セラレルニ過キサルヘシ而シテ偵察隊兵力ハ狀況ニ依リ差異アルモ步兵一、二大隊、砲兵一、二中隊位ヲ基礎トシテ用フルコト多シ若騎兵及砲兵ヲ以テ目的ヲ達シ得ハ最

モ妙ナリ

此種偵察隊行動ノ要領ハ全ク該隊指揮官ノ技能ニ存スルモノニシテ目的ノ達成上如何ナル手段方法ヲ講スルモ亦可ナリ世ニ所謂偵察戰ナルモノ之ナリ偵察戰ノ主旨トスル所ハ左ノ如シ

- (a) 敵ニ強大ナル部隊ノ攻撃ヲ受ケタル威嚇ヲ與フ
- (b) 戰鬪間ヲ利用シテ視察ヲナス
- (c) 目的ノ達成後速ニ戰鬪ヲ離脱ス

以上ノ主旨ニ合スル爲ニハ如何ナル戰鬪法ヲ用フヘキヤニ關シ說ヲナスモノ少カラス曰ク陽攻曰ク眞面目ノ攻撃等之ナリ抑、偵察戰ナルモノハ一種特別ノモノニシテ陽攻ヲ可トスルヤ眞面目ノ攻撃ヲ有利トスルヤヲ限定シ得ヘキモノニアラス要ハ指揮官其慧眼ニヨリ其目的ノ達成ニ最モ適當ナリト信スル方法ヲ採用スレハ可ナリ而シテ其方法ノ選擇ハ敵情殊ニ其性情慣用戰法並地形等ニ關スルモノナリ故ニ兩攻撃法ヲ併用スル場合モナキニアラス例ヘハ敵本陣地前ノ監視部隊ヲ驅逐スルニハ眞ノ攻撃ヲ以テシ敵本陣地前地形ノ便ヲ得

テ陽攻ニヨリ輕易ニ戰鬪離脱ヲナシ得ル方法ヲ講シ敵ヲシテ驚愕其眞狀ヲ暴露セシメ得ルコトアルヘシ又目的ノ達成上己ムヲ得サレハ戰鬪離脱ノ困難ハ第二位ニ置キ某要點ニ向ヒ眞面目ノ攻撃ヲ實施シ近距離マテ近接スルノ餘儀ナキニ至ルコトモアルヘシ故ニ諸官ハ偵察戰即チ陽攻又ハ眞攻撃ト一方ニ偏シタル考ヲ持タサルヲ要ス予ハ只先ニ述ヘタル主旨ニ基キ此種攻撃ハ其意志ニ於テ決戰ヲ欲セスシテ而モ敵ニ強大ナル攻撃ヲ受ケタル威嚇ヲ與ヘントスル其動機及戰鬪離脱ヲ豫期スル等ノ關係上此種攻撃ノ決戰攻撃ニアラサルヲ斷言セント欲ス而シテ其形式カ決戰攻撃類似ノ狀態ヲ呈スルヤ欺騙攻撃即チ陽攻ノ狀態ヲ呈スルヤハ一ニ現時ノ狀況ニ基キ指揮官ノ採否ノ如何ニヨルモノナリ要スルニ諸官カ形式ニ拘泥シテ戰術ノ妙用ニ缺陷ヲ生センコトヲ恐レ茲ニ之ヲ附言ス

(乙) 砲撃ヲ主トスルモノ

此種搜索ハ砲兵ノ遠大ナル射程ト強大ナル威力トヲ以テ敵ヲ驚駭騷擾セシメ以テ敵陣地ノ狀態特ニ自己ノ知ラント欲スル事項ヲ探知セントスルモノナリ

而シテ現今ハ砲兵ノ射程遠大ナルヲ以テ此種搜索法ヲ用フルトキハ歩兵ハ尙機動ノ餘地ヲ存シ適宜敵ト離隔シテ位置シ得ヘキカ故ニ動作ノ自由ヲ有シ且不時ノ戰鬪ヲ惹起スルノ患少シ

防者ノ受働的ナル心理状態ハ攻者ヨリ不意ノ砲撃ヲ受クレハ該砲撃ノ偵察目的ノモノナリヤ眞ノ戰鬪開始ナリヤヲ察知スルニハ若干時間ヲ要スヘク其間萬一ヲ顧慮シ相當ノ戰鬪準備ヲナス爲待機姿勢ヨリ戰鬪姿勢ヘノ移動及砲撃ニ對スル驚駭騷擾ヨリ生スル状態ニヨリ多少其陣地ヲ暴露スルニ至ルハ爭フヘカラサル事實ナリ而シテ敵軍稍時間ヲ經テ砲撃ハ偵察ノ爲ナルコトヲ察知シ得ルヤ再沈靜ノ状態ニ復スヘキヲ以テ此搜索ハ砲戰開始ノ初期ニ於ケル視察ヲ最モ緊要ナリトス又搜索効果ノ期待モ(丙)ノ如ク大ナル能ハス但シ素質又ハ志氣上ノ缺點アル敵軍ニ對シテハ偉大ナル効果ヲ現シ得ルモノナリ

(丙) 我軍總攻撃ノ端緒トナル場合

此種ノ搜索ハ野戰ノ運動戰(堅固ナル陣地ノ攻防ニ對シ便宜上稱スル比較語ニシテ決シテ遭遇戰ノミヲ云フニアラス單簡ナル陣地ノ攻防ヲモ含ムヲ以テ誤

解ナキヲ要ス)ニ於テ而モ比較的小地域ノ作戰ニ應用セララルルニ過キササルヘシ何トナレハ正面十數里ニ亘リ而モ堅固ナル敵陣地ニ對シ某一、二偵察隊ノ得タル結果ニ基キ直ニ總攻撃ヲ開始シ得ヘシトハ豫期スルヲ得サレハナリ此種ノ搜索法ハ其搜索セントスル目的ニ應シ之ヲ二種ニ小區分ヲナシ得ヘシ今予ハ便宜上次ノ如ク區分セント欲ス

(其一) 縱方向ノ疑念ヲ確カメントスルモノ

(其二) 橫方向ノ疑念ヲ確カメントスルモノ

(其一)ハ次ノ如キ場合ニシテ而モ他ノ手段ヲ以テ之ヲ確ムル方法及時間ナキ場合ニ生スヘシ

(イ) 急速ナル攻撃ヲ要スルニ際シ敵陣地ニ出會シ前進陣地ナリヤ本陣地ナリヤヲ知ル必要アルトキ

(ロ) 追擊中敵陣地ニ出會シ後衛陣地ナリヤ本陣地ナリヤヲ知ル必要アルトキ

尙此種ノ一例ト見ルヘキモ尙中途半端ノ場合ナキニアラス即チ

(ハ) 敵ト相對峙シアル際敵軍退却ノ疑アリ若退却ナラハ直ニ總攻撃ヲ開始シ否サレハ總攻撃ヲ若干遲延スルヲ要スルトキ

(其二)ハ主トシテ次ノ如キ場合ニ生スヘシ

敵陣地ノ一翼又ハ兩翼不明ニシテ敵翼ノ如何ニヨリテ總攻撃ニ於ケル主攻擊ノ選定ヲ異ニスルトキ

實施要領ハ何レノ場合ト雖總攻撃ヲ開始スルニ當リ主力ヲ如何ニ使用スルヤヲ決定スルヲ先決問題トナス故ニ此種偵察隊ニハ時機ニヨリ二種ノ任務ヲ擔任セシムルモノナリ即チ敵情不明ナル間ハ眞ノ偵察部隊ニシテ敵情明瞭トナリ指揮官爾後ノ決心ヲナスヤ攻撃實行部隊トナルモノナレハナリ但シ狀況ニヨリ始メヨリ攻撃部隊トシテ任務ニ服セシメ間接ニ搜索目的ヲ達セントスルコトナキニアラス例ヘハ某點附近ハ前進陣地ナリヤ否ヤニヨリ前進陣地ナルトキハ偵察隊ヲ攻撃部隊トナシ否サルトキハ主力ヲ用フルモ之ヲ用フル方面同シク其近傍ニシテ大ナル兵力ノ移動ヲ要セサルトキノ如キ之ナリ從テ其全區處ハ偵察目的ノ達成ヲ計ルト同時ニ爾後ノ行動ニ有利ナル如ク規畫セサル

ヘカラス換言スレハ此際ニ於ケル偵察者ハ偵察隊長ニアラスシテ總指揮官ナリ總指揮官自己ノ意圖ノ如ク偵察隊ヲ使用スルナリ故ニ偵察隊ノ行動ハ某程度迄指揮官ニ於テ規正スルノ必要アルハ既ニ想定ニ於テ研究シタルカ如シ即チ此種偵察隊ノ動作ハ指揮官ノ意志ニ於テ差アルモ所謂緒戰部隊或ハ警戒部隊ノ戰鬥ニヨリ狀況ヲ一層明カニシツツ本隊ヲ戰鬥ニ加入セシムル場合ト形體ニ於テハ選フ所ナシ偵察隊ニ攻撃ヲ命スルトキ殊ニ然リ何レニシテモ主力ハ爾後ノ使用ニ應シ得ヘキ姿勢ニアリテ狀況ノ發展ヲ待ツヘキモノナリ

夜間攻撃之研究 (想定)

状況

午後三時歩兵第二聯隊(第三大隊、機關銃一小隊欠)ハ各一部ヲ以テ新貝西方二個ノ突出高地端ヲ主力ヲ以テ神明神社ノ高地ノ敵ヲ驅逐シ該高地ニ攀登セリ此時約八門ノ砲兵ハ岩井大久保東方高地附近ヨリ神明神社ノ高地ヲ猛射ス我砲兵ノ主力ハ今陣地ヲ變換セントシツツアリ一部ハ高地上ノ敵ヲ猛射中ナリ歩兵第二聯隊第三大隊及機關銃一小隊ハ神明神社高地脚ニ歩兵第一聯隊ノ主力ハ鎌田東南附近ニ、歩兵第二聯隊第五中隊ハ鎌田、東貝塚中間地區ヲ前進中ナリ騎兵中隊ハ西之島西端ヲ占領シ二、三百ノ敵騎ト相對シアリ東海道方面

ノ部隊ハ太田川ノ線附近ヨリ著シク前進スルヲ得ス此時支隊長ハ將校斥候ヨリ騎兵約百砲約八門ヲ有スル敵ノ一部隊ハ正午氣賀ヲ通過シテ東進セリ未タ敵ノ歩兵ヲ見ストノ報告ヲ受領ス

同時諸井北方高地上ニアル砲兵中隊長ヨリ三ヶ野坂上、西貝塚大久保ノ線附近ニ於テ敵兵盛ニ移動シアル旨ノ電話報告アリ

第一問題

支隊長ノ處置

第一問題原案

次ノ狀況中ニ示ス

狀況

支隊長ハ歩兵第二聯隊第三大隊、同機關銃一小隊ヲ聯隊長ノ隸下ニ復歸シ新貝馬山鎌田西北端附近鐵道線ヲ、又歩兵第一聯隊第三大隊長ニ部下大隊主力ヲ以テ歩兵第一聯隊第十二中隊ヲ合シ歩兵第二聯隊ノ左翼ニ連繫シ鐵道線附近ヲ占領セシメ歩兵第一聯隊半部ハ鎌田南端附近ニ位置セシム、砲兵大隊ハ先ツ主力ヲ高地上ニ次テ諸井東北方高地ノ一部ヲ同地ニ陣地變換ヲ命シ砲兵ノ進出ヲ待テ攻撃前進ヲサント欲ス

午後四時我主力ハ神明神社高地上ニ陣地ヲ占領シ終レリ敵砲兵ハ我砲兵ニ猛射ヲ集注スルモ敵歩兵ハ此時ニ至ルモ攻撃前進ノ模様ナシ

第二問題

午後四時ニ於ケル支隊長ノ敵情判斷

第二問題原案

次ノ狀況中ニ示ス

狀況

支隊長ハ敵兵近ク後續隊ノ到著ヲ期待シ攻撃前進ヲ遲延シタルニアラサルヤヲ疑ヒ直ニ前面ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ概ネ現在ノ部署ヲ以テ攻撃前進ヲ命シ諸隊ハ合ヤ鐵道線ヲ離レ前進セントス時ニ恰モ約八門ヲ下ラサル敵砲兵ハ見附東端附近ノ高地ニ現出シ我第一線ヲ猛射シ諸隊前進ノ氣勢ヲ挫折シ遺憾ナカラ再ヒ鐵道線ニ膠著スルノ止ムナキ狀況ナリ又我砲兵大隊ハ約二倍ノ敵砲兵ノ爲ニ火制セラレ今ヤ苦境ニ沈ミツツア

リ二之宮附近ニ於ケル敵騎兵ハ此頃ヨリ漸次増加シツツアリ
時ニ午後五時ナリ

第三問題

支隊ニ附屬セラレアル參謀トシテ午後五時ニ於ケル狀況判斷

第三問題原案

判決

支隊ハ攻撃ヲ續行スルヲ要ス

狀況

支隊長ハ攻撃ヲ督勵シ前進ヲ企圖セシモ敵歩兵火ニ制セラ
ルト昨夜來ノ疲勞及一部彈藥ノ補給ヲ要スル等ノ關係等ニヨ

リ意ノ如クナラス午後六時ニ至ルモ鐵道線ノ前方約二、三百米
ノ線ヨリ前進スルヲ得ス、此頃西貝塚大久保西端ヨリ同城之崎
ニ亘ル高地東端附近ニハ點々敵ノ徒歩兵ヲ見ル

此時支隊長ハ軍司令官ヨリ左ノ要旨ノ命令ヲ受領ス

第一師團(先遣支隊欠)ヲ急行其地ニ到ラシム貴官ハ師團長到
著後其隸下ニ復歸スヘシ

第一師團主力ノ其地到著ハ夜半十二時遅クモ明拂曉以前ノ
豫定ナリ

第一師團長ヨリハ未タ何等ノ命令ニ接セス

第四問題

附屬參謀トシテ午後六時ニ於ケル狀況判斷

第四問題原案

判決

支隊ハ現在地附近ヲ堅固ニ占領シ第一師團主力ノ來著ヲ待ツヲ要ス

狀況

支隊長ハ參謀ノ意見具申テ否認シ前面ノ敵ニ對シ本夜夜襲ヲ爲スニ決シ諸隊長ニ命シ之カ準備ヲナサシム

第五問題 (宿題)

六月二十四日夜ニ於ケル東軍支隊夜襲計畫要圖

第五問題答解ニ對スル總評

一 諸官ノ作業中ニ敵情全局師團將來ノ作戰支隊本夜々襲ノ作戰目的、成效後ニ於ケル行動ノ腹案等ナクシテ單ニ三ヶ野坂上附近ヨリ貝塚大久保ノ線ニ布陣セル敵陣地ヲ夜襲スルノミノ考案ヲナセルモノアリ此ノ如キハ諸官目下ノ程度トシテハ甚不可ナリ酷評スレハ戰鬥動作トシテ部隊指揮ノ研究ハナセシモ作戰指導ヨリ見タル夜間攻撃計畫トシテハ價值ナキモノト云フヘシ將來諸官ハ如何ナル問題ニ遭遇セル場合ニモ能ク全局ヲ達觀シ局部ニ没頭スルコトナキヲ要ス

二 主攻擊點選定ニ關シテハ(甲)西貝塚大久保東北方附近(乙)三ヶ野坂上南方附近ノ二アリ(甲)ハ前面ノ敵ノミヲ攻撃スル場合ニハ有利ナルモ全般ノ狀況上危險ナリ又奏効上ノ作戰効果大ナラス(乙)ハ敵ノ軸ニシテ堅固ナランモ將來全般ノ作戰上支隊ノ左半旋回ヲ要スルニ想到セハ正ニ選フヘキ攻撃點ナリ
諸官中ニハ夜間攻撃ナルヲ以テ攻撃點ノ如キハ何レニシテモ可ナリト考ヘタルヤニ見受クルモノアリ斯ノ如キハ本校學生ノ作業トシテハ許シ難キ不備ノ點ナリ

三 攻撃時機ノ選定ヲ主トシテ準備ノ完了ノミニ重キヲ置キシモノアリ準備甚可ナリト雖戰況ニ應スルコトハ一層緊要ナリ又全ク本夜ハ舊曆十一日ニテ晴天ナラハ十時頃マテ月明ナルコトヲ思ハサルモノモアリ又月明ノミヲ考慮シテ戰機ヲ逸シタルモノモアリ共ニ不可ナリ月明ノ夜間攻撃ニハ其方法アリ宜シク戰機ヲ逸セサルヲ要ス

四 西貝塚西之島ノ線以西ノ地區ニ南方面ヨリ一部隊ヲ助攻的ニ派遣シタルモノアルモ敵情ノ觀察及師團翌日ノ戰鬪ヲ如何ニ指導セラルヘキヤヲ全ク度外シタルモノナリ又斯ノ如クスルトキハ所謂蠶蛇ニシテ自ラ失敗ヲ招クニ至ル虞大ナルコトヲ思ハサルモノナリ

攻撃時機ノ選定ト部署ト一致セサルモノアリ夜半ノ攻撃ニ月明ヲ利用スル方法ヲ講セサル如キ之ナリ

各部隊ノ攻撃點及方向ヲ命スルニ味方打ノ危險ヲ顧慮セサルヤノ觀アルモノアリ例ヘハ主攻撃點ヲ臺上ヨリ三ヶ野坂上南方ニ選ヒ東海道方面部隊ヲ三ヶ野坂上南側地區ニ攻撃セシメタル如キ之ナリ斯ノ如キハ失敗ノ基ナリ

砲兵ニ掩護隊ヲ附スルコトナク殘置スルハ危險ナリ

豫備隊ハ戰鬪ノ渦中ニ投セサルハ勿論ナリト雖狀況ノ變化ニ應シ得ル程度ニハ推進シアルヲ要ス但シ他ノ作戰目的ノ爲殘置スルモノハ別ナリ

夜間攻撃ト雖兵力使用上ニ重點ノナキハ不可ナリ例ヘハ兩方面ニ二大隊ツツヲ攻撃セシメ中央ニ一大隊ヲ控置スル如キ之ナリ

第五問題答解上ノ著眼

一 全般ノ狀況考察

三ヶ野坂上南方高地上ニ於ケル彼我支作戰ノ戰略的形勢ハ互ニ該高地上ニ有利ナル立脚地ヲ領有シ後續兵團ノ進出ヲ容易ナラシメントシツツアツ而シテ其戰術的形勢ニ於テ東軍支隊ハ攻勢的形勢ニアリ西軍支隊ハ日没前先行セル砲兵八門ノ戰鬪加入ニヨリ稍氣勢ヲ恢復シタル狀況ナリ

彼我兩軍後續部隊ノ到着ニ就テ見ルトキハ西軍ハ先ツ騎兵砲兵ノ戰鬪加入次テ歩兵ハ戰場到着ヲ見ルヘク其到着ハ距離ノ關係上恐ラクハ日没―夜半ノ間、

ニアルヘク東軍ハ夜半拂曉ノ間ニ逐次到著スルナラン換言スレハ彼我ノ形勢ハ戰略的逐次戰闘加入ニヨリ先進兵團ノ獲得セル利益ヲ確保又ハ増大セントスルモノナリ而シテ兩軍危機ノ推移ハ兵力上ヨリ云ヘハ二十四日晝間ハ西軍ニ日没ヨリ夜半稍過迄ハ東軍ニ夜半稍過キ彼我均勢ヲ取り得ヘク拂曉以後西軍ニアルモノト云フヘシ

(問)

東西兩軍ニ貸スニ連續セル晝間ヲ以テセハ兩軍ハ二十四日日没頃ニ於ケル形勢ニ於テ爾後如何ニ作戰ヲ指導スヘキモノナリヤ

(答)

判決

東軍支隊ハ現在地附近ヲ堅固ニ占領シテ師團主力ノ到著ヲ待ツヲ可トシ西軍ハ東軍後續兵團ノ來著ニ先チ前面ノ敵ヲ攻撃シ之ヲ各個ニ擊破スルヲ適當ト認ム

(問)

- (一) 前ノ判決ハ暗夜ナリセハ如何ニ變化スルヤ
- (二) 月明ノ夜ナラハ如何

(答)

判決

共ニ大ナル變化ナシ之全般ノ形勢ヲ達觀セル參謀ノ師團作戰指揮官ノ見地ヨリ作戰危機ヲ脱逸スル爲部分的決戰ヲ遲延スルヲ有利ト認メタルモノナラン而シテ天ハ此兩軍作戰危機ノ推移ニ於テ意地悪クモ暗黒ノ幕ヲ以テ之ヲ掩ヘリ暗黒ノ幕ハ果シテ此作戰危機ノ推移ヲ變化シ得ヘキヤ否暗黒ハ少數有爲ノ軍隊ニハ多少小策ヲ弄スルノ餘地ナキニアラサルモ大局ニ於テハ兩軍ニ與フル天祐ハ同等ナリト云フヘシ之先ニ參謀カ師團ノ作戰ヲ本位トシテ一六勝負的而モ失敗ノ場合ニ於テハ師團ノ作戰ヲ根底ヨリ破壊スル虞アル東軍支隊ノ夜襲ノ不可ナルヲ論争シタルモノナリ恐ラクハ老熟ナル師團長ノ意圖モ之ニ一致スルナラン然レトモ支隊長ハ自ラ受ケタル任務達成半ニテ之ヲ投擲スルヲ

潔シトセス否任務ニ忠實ナル所以ト判斷シ師團ノ來著前更ニ有利ナル形勢ヲ取ルヲ要スルモノトナシ敵兵逐次増加スルモ暗黒ハ其優勢ノ發揚ニ比較的不便ナルヲ利用シ夜ニ入ルモ攻撃ヲ敢行スルニ到レリ之支隊長トシテハ亦一理ノ存スル行動ナリ

支隊長トシテハ任務ノ達成ニ極端迄努力セントシ師團長トシテハ師團ノ作戰ヲ考慮シ萬全ノ策ヲ講シ健實ナル作戰ヲナサントス作戰ノ妙味茲ニ存スト云フヘシ

二 夜襲ノ目的

東軍支隊夜襲ノ戰鬪目的ハ敵ノ增加兵ノ大ナラサルニ乘シテ前面ノ敵ヲ擊破スルニアルハ勿論ナリト雖東軍支隊長ハ師團將來ノ作戰ヲ考慮シ本夜襲ノ作戰目的ヲ確立セサルヘカラス此目的ハ即チ全行動ヲ律スル大方針ナリ本夜襲ノ作戰目的ハ三ヶ野坂上南方高地上ノ敵ヲ驅逐シ該高地上ニ堅固ナル立脚地ヲ領有シ海岸道方面ヨリ進出スル師團主力ノ爲戰鬪又ハ運動ノ樞軸トナラシムルニ在リ之カ爲ニハ三ヶ野坂上南方高地上ニ於ケル彼我ノ戰鬪軸據點ヲ觀

察スルヲ要ス西軍全體ヨリ云ヘハ三ヶ野坂上西貝塚大久保ノ線ヲ守勢地帯トシ其西南方地區ヨリ攻勢ヲ取ルカ三ヶ野坂上附近ヲ軸トシテ右半旋回ヲナシテ攻撃前進ヲナスヘシ東軍全體ヨリ見ルトキハ鎌田ノ臺上ヲ守勢地帯トシテ其南方地區ヨリ攻勢ヲ取ルヘキカ鎌田又ハ西貝塚即チ先遣支隊ノ左翼ヲ中央樞軸トシテ支隊ハ左半旋回師團主力ハ右半旋回ヲナシテ攻撃前進ヲナスヘシ故ニ本夜襲ノ目的ハ此旋回軸ヲ何レニ求メ支隊ノ立脚地ヲ何レニ占メ置クヤニ歸著スルナリ其策案トシテニアリ

(甲) 主力ヲ以テ新貝西北方凸出高地ノ凹道部附近ヨリ墓地附近ヲ經テ鎌田西端附近ニ亘ル線ヲ各一部ヲ以テ三ヶ野西北方凸出高地及三ヶ野坂上方高地上ヲ占メ置クモノ

(乙) 岩井大久保東端附近ヨリ西貝塚西端附近ニ亘ル高地線ヲ占メ置クモノ
 (甲) ハ安全且容易ナルモ効果少ク (乙) ハ危険且困難ナルモ効果大ナリ支隊長本夜々襲ヲ敢行スル主旨ヨリスレハ (乙) 案ヲ採用スヘク參謀トシテハ支隊長強テ夜襲ヲ決行スルトシテモ爾後ニ惡影響少キ (甲) 案ヲ意見具申スルナラン戰術上ヨ

リハ共ニ一案タルヲ失ハス

三 成効後ニ於ケル支隊ノ行動腹案

(甲) 案ニアリテハ主力ハ略現在ノ位置ニ在リテ一部ノミ行動スルモノニシテ各一部ハ共ニ奪取シタル地點ヲ守備スレハ足レリ

(乙) 案ニアリテハ左翼ヲ西貝塚ニ出シテ敵陣地奪取後先ツ該地ヲ守備シ敵情ニヨリ更ニ左半旋回ヲナシ高地端ヲ占領シ之ヲ堅固ニ守備スルヲ要ス

(甲) 案ハ暫ク措クモ (乙) 案實施ノ困難推シテ知ルヘキノミ動モスレハ優勢ノ敵ヨリ先ンシテ夜襲ヲ受クル恐アル本狀況ニ於テ殊ニ然リ

四 主攻撃點及攻撃方向

主攻撃點ハ (甲) (乙) 何レノ案ヲ採用スルニ拘ラス敵ノ軸タル三ヶ野坂上南方高地ノ敵陣地ニ指向セラルルヲ適當トス

攻撃方向ニ至リテハ (甲) 案ニアリテハ三ヶ野村西方高地脚ヨリ (乙) 案ニアリテハ新貝馬山―三ヶ野坂上道ニ沿フ方向ヨリ施行セラルルヲ適當トス

五 攻撃開始ノ時機

敵増加隊來著ト共ニ敵ノ夜襲ノ企圖アルヘキヲ顧慮シ之ニ先ンスル爲又成効後ノ行動ニ多クノ時間ヲ要スルコトヲ顧慮シ即刻ヨリ諸準備ヲナシ日没後間モナク攻撃運動ニ著手スルヲ要ス本夜ハ舊曆十一月ニシテ午後十時頃マテ月明アルヲ以テ其以前敵陣地ニ突入シ其結果ヲ完ウスルニ月明ヲ利用スルヲ可トス

六 攻撃部署ノ概要

(甲) 案

(a) 東海道方面ノ部隊ヲ以テ三ヶ野坂上東北方凸出高地ノ敵ヲ攻撃セシム

(b) 豫備隊ニアリシ歩兵第一聯隊第二大隊同機關銃一小隊ヲ以テ三ヶ野村西方高地ノ敵ヲ攻撃セシム

(c) 殘餘ハ新貝西方凸出高地ヨリ墓地ヲ經テ鎌田西端ニ亘ル間ヲ堅固ニ守備セシム

但シ歩兵第二聯隊第四中隊ハ支隊長ノ直轄トシ騎兵第一中隊ノ主力ト協力シ西之島附近ヲ守備セシム

(乙)案

- (a) 歩兵第一聯隊長ニ左ノ部隊ヲ指揮シ東貝塚東北端ノ北方約六百米圖上兩點線道ノ凹地上リ口附近ヨリ西貝塚北端同村南端ヲ經テ西之島西端ニ亘ル線ヲ守備セシム
- 歩兵第一聯隊第三、第四、第八中隊、第三大隊、同聯隊機關銃隊、歩兵第二聯隊第四中隊ノ一小隊、騎兵第一中隊ノ主力
- (b) 歩兵第二聯隊第五中隊ハ新貝西方北部高地ヲ守備セシム
- (c) 東海道方面ノ部隊ノ攻撃ハ(甲)案ニ同シ
- (d) 歩兵第二聯隊(第一大隊、第五中隊、機關銃四欠)ヲシテ新貝馬山方向ヨリ三ヶ野坂上南方高地ヲ攻撃セシム
- (e) 歩兵第一聯隊第二大隊第八中隊欠ハ墓地ヨリ西貝塚大久保東北方ノ敵陣地ヲ攻撃セシム
- 工兵半小隊ヲ附ス
- (f) 歩兵第二聯隊第一大隊、第四中隊欠、同聯隊機關銃隊四、工兵第一中隊(半小隊)

- 欠ハ豫備トナリ歩兵第二聯隊ノ後方ニ續行セシム
- (g) 歩兵第二聯隊第四中隊(一小隊欠)及砲兵大隊ハ砲兵大隊長ノ指揮ヲ以テ神明神社高地附近ニ殘置ス

夜間戦闘ニ關スル原則的説明

夜間戦闘ノ特性ハ暗黒ニヨリ森羅萬象ノ吾人ノ觸感ニ映スル形體上ノ差異及習慣上吾人晝夜ニ於テ變異スル精神狀態並武器効力及之カ使用上ノ差異等ニ基クモノニシテ晝間ニ於ケル諸般狀態ノ差異及暗黒ノ戰術上ニ及ホス利害歩兵操典第二部第八十二等ハ諸書ニ散見スルヲ以テ茲ニ之ヲ省略ス

攻撃

其一 一般ノ要領(通則)

(イ) 價値

夜間攻撃ハ諸官ノ熟知スル如キ利害ノ存スルヲ以テ決戰方式トシテ作戰上ノ價値ハ第二位ニアルモノト云ハサルヘカラス換言スレハ晝間攻撃ハ正法ニシテ夜

間攻撃ハ權道ト稱スヘキナリ古來夜間攻撃ノ起リシ動機及成敗ノ跡ヲ尋ヌルトキハ一見這般ノ消息ヲ窺フヲ得ン然リト雖予ハ將來ノ戰場ニ於テ吾人ハ屢、夜間攻撃ノ決行ヲ要スル場合ニ遭遇スルノ機多カルヘキヲ信シテ疑ハサルモノナリ

夜間攻撃ハ全軍又ハ大軍ノ決戰方式トシテ採用スル場合ハ稀有ナルヲ信スルト共ニ予ハ將來ノ戰場ニ於テ吾人ハ決戰ヲ助勢スル手段トシテ屢、夜間攻撃ノ決行ヲ要スル場合ニ遭遇スルノ機多カルヘシ蓋シ夜間攻撃ハ其特性上少數勇者ノ探ルヘキ戰法ナレハナリ尙吾人ハ左ノ事ヲ思ハサルヘカラス

進歩セル火器ヲ利用シ適切ナル築城術ヲ應用スル防者ハ能ク攻者ノ優勢ナル火力ニ對抗シ攻者ハ晝間火戰ヲ以テ決戰ノ動機ヲ求ムルコト困難トナリシコト及航空搜索機關、通信諸機關ノ發達ハ攻者ノ特點ト認メラルル攻撃方面及時機選擇竝適切ナル準備動作ノ自由ヲ減殺シ攻者ハ夜暗ニヨリテ其行動ヲ防者ニ秘セントスルノ傾向アルコト、將來ノ戰場ニ於テ陣地戰多ク戰鬪鞏強ニシテ長時日ニ亘ルコト、大兵團内ニ於テ交戰部隊ハ局部的ニ晝間攻撃ノ困難ナル戰況及地形ニ遭

遇スルコト等之ナリ

以上ノ如クナルヲ以テ夜間攻撃ノ作戰上決戰方式トシテノ價值ハ將來モ依然第二位ニアルヘシト雖此第二位ニアル決戰助成ノ戰鬪手段ヲ用フルノ機會ハ比較的多キヲ信スルモノナリ

(ロ) 種別

夜間攻撃ハ概言スレハ暗黒ヲ利用スル夜襲戰ナリ然レトモ過去戰役ニ於テ發生セシ夜間攻撃ヲ翫味スルトキハ多種多樣ナルヲ知り得ヘシ

(第一) 目的ヲ以テスル種別

- (1) 主力ヲ以テ一方面ヲ突破シ少クモ該方面又ハ全局面ノ決戰ヲ行ハントスルモノ(步兵操典第二部第八十二ノ第二項)
- (2) 一部ヲ以テ爾後ノ決戰ヲ有利ニ導カント欲シテ行フモノ(敵兵捕獲又ハ騷擾等ヲモ含ム)
- (第二) 守者ニ及ホス精神狀態ニヨル種別
- (3) 局部的ニハ夜襲ナルモ全般ニ於テハ強襲的ナルモノ(步兵操典第二部第

八十二ノ第二項

- (4) 全然奇襲的(急襲的)ナルモノ(右ニ同シ)
- (第三) 時機ニヨル種別
- (5) 日没直後ニ行フモノ
- (6) 夜半(夜間)行フモノ(歩兵操典第二部第八十四ノ第四項)
- (7) 拂曉前行フモノ(右ニ同シ)
- (第四) 明暗ニヨル種別
- (8) 月明ノ夜ニ行フモノ
- (9) 暗夜ニ行フモノ
- (第五) 發進位置ニヨル種別
- (10) 敵ト稍遠隔セル地點ヨリ發進シテ行フモノ
- (11) 近ク敵ト觸接シアリテ後行フモノ
- (第六) 地形ニヨル種別
- (12) 山地起伏地ニ於ケルモノ

- (13) 平地ニ於ケルモノ
 - (14) 隘路口ヲ扼スル敵ニ對シテ行フモノ
 - (第七) 敵設備ニヨル種別
 - (15) 設備陣地ニ對シテ行フモノ
 - (16) 堅固ナル設備ナキモノニ對シテ行フモノ
- 以上ノ外季節天候等ノ利用如何ニヨリ千變萬化ナルコト更ニ解説スルノ要ナカ
ルヘシ

(ハ) 發生ノ動機

過去戰役ニ於ケル夜間攻撃發生ノ動機ヲ研究スルニ概ネ次ノ如クナルカ如シ

- (第一) 特ニ攻撃ヲ急ク爲
- 例ヘハ敵増加隊ノ到着前前面ノ敵ヲ擊破セントスルカ又ハ某地ニ進出ヲ急
ク爲中間ノ敵ヲ擊破スルヲ要スル場合ノ如シ
- (第二) 晝間攻撃ノ準備ヲナス爲
- 例ヘハ晝間攻撃ヲ有利ナラシムル爲前夜敵ノ前哨ヲ驅逐シ又ハ前進陣地ヲ

攻略シ或ハ數陣地ノ要點ヲ奪取スル場合ノ如シ

(第三) 晝間ノ攻撃ヲ繼續スル爲

例ヘハ晝間攻撃ノ實施中時間不足ニシテ終ニ日沒トナリ依然攻撃ヲ繼續スル場合ノ如シ

(第四) 晝間攻撃ノ戰機ヲ一轉スル爲

例ヘハ晝間攻撃中地形又ハ敵陣地ノ設備又ハ彼我火力ノ關係上攻撃頗ル困難トナリ一時中止ノ状態ニ陥リ夜暗ヲ利用シテ敵ヲ攻撃シ戰機ノ發展ヲ計ル場合ノ如シ

(第五) 晝間攻撃ヲ行フヨリモ夜間攻撃ヲ以テ有利トナス爲

例ヘハ敵ノ不意ニ乘シ得ルカ又ハ我砲兵ヲ晝間有利ニ使用シ得サルカ或ハ河川狹隘等ヲ通過スルヲ要スル爲晝間攻撃甚危険ナル場合ノ如シ

(第六) 夜間ニ於ケル敵ノ企圖ヲ妨害スル爲

例ヘハ夜間ニ於ケル敵ノ工事架橋又ハ夜間ニ於テ敵ノ行フ攻撃準備夜襲敵ノ退却移動休憩等ヲ妨害シ或ハ近ク前面ニ露營スル騎兵集團ヲ擾亂セシム

ル場合ノ如シ

(第七) 夜間ニ於ケル我行動ヲ掩蔽スル爲

例ヘハ我退却又ハ兵力移動ヲ掩蔽スル場合ノ如シ

(第八) 特別ノ援助ヲ胸算シ得ル爲

例ヘハ天候等ノ爲敵兵勤務ニ缺陷アルカ又ハ敵ノ志氣素質疎悪或ハ土民ノ援助等ヲ利用シ勝利ヲ得ル公算大ナル場合ノ如シ

(ニ) 用フヘキ場合

以上列記シタル所ヲ翫味スレハ如何ナル場合ニ夜間攻撃ヲ用フヘキヤハ略推知シ得ヘシ今之ヲ約言スレハ次ノ如シ

(1) 晝間ノ決戦ヲ有利ナラシムルカ又ハ晝間戦闘ヲ終局セシムルカ或ハ晝間戦闘ノ準備上必要ナル場合

(2) 兵力ノ懸隔其他ノ原因ニヨリ不時ノ急襲ニヨル外攻撃ノ目的ヲ達シ得サル場合

(3) 我軍志氣ノ旺盛ハ用兵上ノ缺陷ヲ補ヒ得ル場合

- (4) 敵ノ過失ヲ利用シ得ル場合
 - (5) 天候、地形、土民等特別ノ援助アル場合
 - (6) 敵ノ夜間動作ヲ妨害スル場合
- 之ヲ要スルニ夜間攻撃ナルモノハ我軍ハ兵力ノ大小、志氣其他ノ關係ニヨリ、暗黒ノ爲生スル用兵上ノ弊害ヲ補フテ餘リアルカ否サルモ全軍ノ爲自ラ其弊害ヲ排除シテ戰勝ヲ開ク必要アル場合ニ用フヘキ用兵上ノ變法ト云フヘシ

(ホ) 成效ノ要件

夜間攻撃成效ノ要件ハ仔細ニ研究スレハ多々之アリト雖其要項ヲ摘記スレハ左ノ數項ニ含有セララルヘシ

(第一) 好ンテ夜間攻撃ヲ企圖ス

指揮官以下各級幹部兵卒ニ至ルマテ意志堅固、志氣旺盛、軍紀嚴肅ニシテ教育訓練殊ニ夜間ノ動作ニ習熟シ上下相信シ自ラ戰勝ニ對スル信念ノ厚キ者ニシテ始メテ成效ヲ期シ得ヘシ

(第二) 敵情及地形ヲ熟知ス

敵陣地ノ状態、配備、設備、竝前進地區ノ地形、地區、地物ヲ熟知シ夜間ニ於ケル諸般景況ノ變化ヲ了知シ暗黒ニ處スルコト晝間ニ於ケルト大差ナキ如キ時ハ頗ル有利ナリ

(第三) 相當ノ準備時間ヲ有ス

敵情、地形ノ詳知モ亦之ニ原因スヘク計畫ノ適切、實行準備ノ違算ナキモ主トシテ此時間ノ多少ニ關係スレハナリ

(第四) 實行ニ際シ敵ノ不意ニ乘ス

靜肅沈著シテ無聲ノ威嚇ヲ以テ敵陣ニ迫リ不時ノ事故アルモ泰然トシテ誘惑セララルコトナク必勝ヲ期シ敵陣ニ不意ニ突入シ銃劍ヲ以テ一舉ニ戰ヲ決スルモノ勝利ヲ得ルハ典令ノ示ス所ナリ(步兵操典第二部第八十五第一項)以上ヲ通覽スレハ晝間ノ活動ニ慣レタル人類ヲシテ局部的ニ夜間運動ニ支障ナカラシムル爲相當ノ準備ヲナスヲ得ハ志氣旺盛特ニ個人的精神訓練ノ堅固ナル者勝利ヲ期シ得ヘシ予ヲ以テ之ヲ見ルニ個人的精神力ハ軍事教育ノ力固ヨリ大ナリト雖國民性ニ基スルコトモ亦至大ナリ從テ此種戰法ハ特ニ國民性ニ鑑ムル

所大ナラスンハアラス

(へ) 行動上一般ノ注意

夜間攻撃ニ於ケル行動一般ノ注意又ハ各官ノ心得等ニ關シテハ戰史及諸書ニ散見スルヲ以テ茲ニハ單ニ其要目ヲ列舉シ注意ヲ喚起スルニ止メントス

- (1) 靜肅保持ニ關スル處置
- (2) 連絡、識別ヲ容易ナラシムル爲ノ處置
- (3) 運動秘匿又ハ敵ノ發覺ヲ豫防スル爲ノ處置
- (4) 運動ヲ整正確實ナラシムル爲ノ處置
- (5) 特別ノ處置(爾後ノ行動、土民ノ抑制等)

其二 攻撃計畫

(イ) 要義

夜間攻撃ノ要義ハ靜肅ニシテ行動ヲ敵ニ秘スルニ在リ之カ爲動作敏活ヲ缺キ多大ノ時間ヲ要スルハ已ムヲ得サル事ナリ否此等ノ諸件ハ行動ヲ敵ニ秘シ不意ニ乘スルニ比スレハ蓋シ第二位ニ置カサルヘカラス靜肅、秘匿、不意ハ夜間攻撃ニ於

テ最大ノ要件ナリトス

(ロ) 偵察

偵察ハ攻撃計畫ノ基礎ニシテ又實行ノ爲ノ準繩ナリ五官ノ機能十分ノ用ヲナス晝間ニ於テ偵察ノ必要アリ況ヤ暗黒ニシテ五官ノ大半其用ヲ缺ク夜間動作ニ於テ之カ必要ナルハ多言ヲ要セサルヘシ偵察密ナレハ計畫適切從テ實行確實ナリ故ニ夜間ノ行動ニ於テハ軍隊指揮官計畫立案上必要ナル偵察ノ外實行者行動ノ準繩ヲ得ル爲詳細綿密ナル偵察ヲ特ニ緊要トス夜間攻撃ノ爲ノ偵察ニ方リ特ニ必要ナルハ晝夜ニ於ケル事物諸般景況ノ差別ヲ熟知シ暗黒ニ惑ハサレサル爲晝間ニ於ケル諸偵察ノミナラス時間之ヲ許サハ夜間ニ於テモ同一ノ目的ヲ以テ偵察ヲ行ヒ晝夜ニ於ケル差異ヲ明カニスルコト之ナリ事情之ヲ許ストキハ二三指揮官ノ偵察ニ止マラス多數ノ將校要スルハ下士卒ヲモ偵察ニ從事セシメ實行ノ場合ニ於テ支障ナカラシムルヲ可トス
偵察スヘキ要目ハ夜間攻撃ニ於テモ一般敵陣地偵察ノ要旨ヲ服膺スヘキモノナリト雖特ニ注意ヲ要スヘキモノヲ舉クレハ次ノ如シ

- (1) 敵陣地ニ就キ敵ノ夜間射撃特ニ機關銃射撃ノ設備、監視幕ノ状態又ハ探照燈ノ位置、陣地内ニ突入ノ爲ノ動作ノ難易等ニシテ要ハ死角等敵ノ夜間射撃(通常水平射撃)ヲ免レ容易ニ行動シ得ル地點縦ヘ晝間ハ接近困難ナル處タリトモ)ヲ發見センカ爲ナリ
- (2) 障礙物ノ存在スル敵陣地ニ在リテハ其状態、破壞法又ハ迂回ノ方法手段等ニ關シ偵察スルヲ要ス
- (3) 夜間ニ於ケル敵軍警戒状態特ニ本陣地トノ距離及一般配備ノ晝間トノ差異等ハ特ニ注意ヲ要ス
- (4) 我戦闘展開ノ位置及其後敵陣地ニ接近スル爲運動ノ隊形、步度、行進方向ノ保持等ニ關スル地形ノ偵察ヲ要ス
- (5) 集合地ヨリ展開地マテノ運動ヲ容易ナラシムル目的ヲ以テスル地形ノ偵察ヲ要ス
- (6) 所在地ヨリ集合地ニ至ル間ノ運動ヲ容易ナラシムル爲ノ地形偵察ヲ要ス
- (7) 其他夜間ニ於ケル通信連絡識別上必要ナル諸件ノ偵察ヲ要ス

(ハ) 攻撃點

攻撃點ノ選定ハ夜間攻撃ヲ爲ス作戰目的ニ依リ差異アリ若該目的上之ヲ許サハ夜間運動容易且短距離ニシテ突入接戰ニ便ナルヲ要ス
 攻撃點ノ數モ亦目的ニ依リ差異アリ一點ニテ可ナルコトアリ又數點ヲ同時ニ攻撃スルヲ要スルコトアリ

(ニ) 攻撃方向手段

夜間ハ軍隊ノ統帥各隊ノ協同動作至難ナルヲ以テ運用ハ單一ナルヲ貴フ之カ爲其一攻撃點ニ向フ攻撃方向ノ選定ハ一方面ヨリ所謂短刀直入的ナルヲ有利トナス場合多シ
 包圍ヲ以テ一部隊敵ノ側面又ハ背面ニ向フヲ得ハ敵ニ與フル恐怖ハ非常ニ大ナルモノニシテ晝間ニ於ケルヨリモ一層効果大ナリトス然レトモ此方法ハ我軍ニ及ホス危害ノ大ナルコトモ亦察スルヲ得換言スレハ夜間ニ於ケル包圍攻撃ハ効果大ナルト共ニ危險頗ル大ナリ故ニ此方法ハ統帥者ノ手腕、軍隊ノ熟練及月明、白雪ノ補助等ニヨリ危險豫防ニ關シ充分ナル確信アル時稀ニ使用セララルモノナ

子ハ夜間ニ於ケル攻撃方向ハ理論上側背脅威ノ効果大ナルニ拘ラス人類ノ自然ノ弱點ト軍隊演練ノ現況等ニ鑑ミ包圍ヨリモ正面突破ヲ以テ優レルモノト信ス但シ予ハ茲ニ正面突破ト稱スルモ諸官ハ地物例ヘハ村落ヲ守備スル敵ニ對シ敵防禦正面タル村落内ニ大兵ヲ投入スルモノノ如キ意味ニ誤解セサルヲ要ス

(ホ) 攻撃ノ時機

夜間攻撃決行ノ作戰目的ニ關シ概ネ左ノ四時機アルヘシ

- (1) 薄暮即チ宵暗ニ乗スルモノ
 - (2) 晝間戦闘ノ繼續晝夜ニ於ケル敵軍動作變換ノ機ニ乗スル場合ノ如キ之ナリ
 - (3) 夜半即チ丑滿ニ乗スルモノ
 - (4) 疲勞假眠等ノ爲自然勤務ヲ怠リ易キ時機ヲ利用セント欲シ古來採用セラレタルモノナリ
 - (5) 拂曉前ニ乗スルモノ
- 晝間戦闘ノ端緒ヲ開キ次テ夜間ヲ利用シ戦闘ヲ有利ニ指導セントスルカ如

キ場合之ナリ而シテ其拂曉ヲ隔ツル時間ハ敵陣地奪取後之ヲ使用セント欲スル目的ニヨリテ差異アリ

(4) 奇襲ヲ目的トナシ時刻不定ナルモノ

要ハ各其目的ニ應シ敵ノ意表ニ出ツル爲ニ時刻ヲ選定シ又我本軍ノ目的等ニヨリ其時刻ヲ決定スル等臨機ニ所要ノ時刻ニ決行スルモノノ如キ之ナリ要スルニ時機ノ選定ハ全般ノ作戰ヲ顧慮シ戰機ヲ逸セサルヲ以テ主要ノ著眼トナス

(ヘ) 兵力編組ノ決定

夜間攻撃ニ任スル總兵力ハ奪取セントスル攻撃點ノ數及爾後ニ於ケル作戰行動ヲ顧慮シテ決定スルモノナリ然レトモ一攻撃點ニ用フル兵力ハ必シモ多キヲ要セサルハ實驗ノ證スル所ナリ是相集結シテ同一地ニ接戰格闘ニ任スル兵力ニハ大凡ソ定限ノ存スルヲ以テナリ予ヲ以テ之ヲ見レハ一方面ノ戰鬥任務ヲ擔任シ得ヘキ精神團結タル歩兵一聯隊ヲ以テ其最大限ナラント思考ス

夜間攻撃ハ歩兵ノ專任ナルハ諸官ノ熟知スル所ナリ但シ射擊本位ノ機關銃ハ攻

者ノ爲必要甚少シ只奏効後該地ヲ守備スル際之ヲ必要トスルコトアリ

騎兵ハ稀ニ獨立シテ夜襲ニ任スルコトアルモ特例ト看做スヘク他兵種カ夜間攻撃ヲナス間他方面ニ於テ警戒監視掩蔽ニ任スル場合ノ外通信連絡ニ任シ其他ノ主力ハ拂曉後ニ於ケル行動ヲ準備スルニ過キス

砲兵ハ堅固ナル設備陣地ニ對シ晝間ヨリ準備セル射撃ヲ爲スカ他方面ヲ威嚇騷擾セシメントスルカ又ハ特ニ我目的ノ秘匿上之ヲ要スル場合ニ稀ニ參與スルモノニシテ其他ハ拂曉後ニ於ケル行動ヲ準備スルニ過キス

工兵ハ特ニ障碍物ヲ排除スルヲ要スル場合ニ於テ緊要ナリ其他ハ拂曉前完成スヘキ諸設備又ハ夜間照明等ノ爲使用セラルヘシ

(ト) 任務ノ指示

攻撃部隊ニ與フル任務ハ單一ナルヲ要ス複雑ナル數多ノ任務ヲ同時ニ課スルカ如キハ實行不確實ナルノミナラス動モスレハ受令者ヲシテ二兎ヲ逐ハシムルノ煩ニ陥リ易シ晝間攻撃ト雖此感アリ況ヤ暗黒中ナル夜間攻撃ニ於テオヤ予ノ茲ニ任務ノ單一ト稱スルモノト攻撃奏効後ニ於ケル爾後第一ノ處置トヲ混

同セサルヲ要ス爾後ニ於ケル第一ノ處置トハ夜間ニ於テ適時命令傳達ヲ豫期シ得サルノミナラス協同スヘキ隣接部隊ハ不明ニシテ而モ全般ノ狀況ハ暗黒ヲ以テ充タサル換言スレハ次級指揮官爾後ニ於ケル獨斷專行ヲナスヘキ準繩ヲ自ラ發見スルコト困難ナリ故ニ奏効後無爲ニシテ時間ヲ消費セシムルコトナク適時行動ヲ爲サシメントスルカ爲軍隊指揮官ノ意圖ヲ指示シ暗黒中ニ於ケル行動ノ準繩憑據ヲ得セシメントスルニ在リ從テ爾後第一ノ處置ハ此主旨ニ基キ命セサルヘカラス漫ニ過望ノ要求ヲ開陳スル如キハ本旨ニアラサルナリ

(チ) 攻撃命令

攻撃命令ノ主旨ハ晝間ノモノト大差ナキモ暗黒ニ於ケル動作ヲ規正スル爲晝間ノモノニ比スレハ稍詳細ニ渉ルハ已ムヲ得サルナリ其内容ノ要目ハ步兵操典第二部第八十三ニ指示スル如ク

- (1) 各部隊ノ行進目標、行進路
- (2) 相互ノ連絡及識別法
- (3) 要スレハ到著點

(4) 要スレハ爾後ニ於ケル第一ノ處置等ナリ

此内容ニ就テ吟味スルニ攻撃命令ニハ左ノ二様アルコトヲ知ラサルヘカラス

(第一) 最終準備位置タル集合地ニ到ル爲ノ前進命令

(第二) 最終準備位置タル集合地ヨリ攻撃ヲ實行スル爲ノ攻撃命令

前述兩命令ヲ各別ニ下スヲ要スルヤ之ヲ相合シテ下スヘキヤ將又第二命令ノミニテ足ルヤハ全ク現時ノ狀況特ニ軍隊所在地ト敵陣地トノ距離及軍隊ノ大小指揮官階級ノ上下ニ關ス

高級指揮官例ヘハ師團長等ノ某聯隊ニ與フル命令ノ如キハ遠距離ヨリ運動ヲ起シ夜間攻撃ヲ爲ス場合ニ在リテモ第一第二ノ兩種命令ノ内容ヲ一括シテ下サルルコト多シ

之ニ反シ聯隊長ノ其部下ニ下ス命令ハ若聯隊遠距離ヨリ夜間攻撃ニ著手スル場合特ニ編合部隊アルトキハ某地ニ向テ集合スル爲ノ第一命令次テ其地ニ於テ攻撃運動ニ就ク爲ノ第二ノ命令ヲ下スコト多シ

敵ニ近接シ而モ攻撃部隊集結シアリテ直ニ攻撃運動ニ就クヲ可トスル如キ場合ニ在リテハ第二ノ攻撃命令ノミニテ可ナリ

其三 攻撃實施

(イ) 集合地(中間到着地點)及同地ヘノ前進

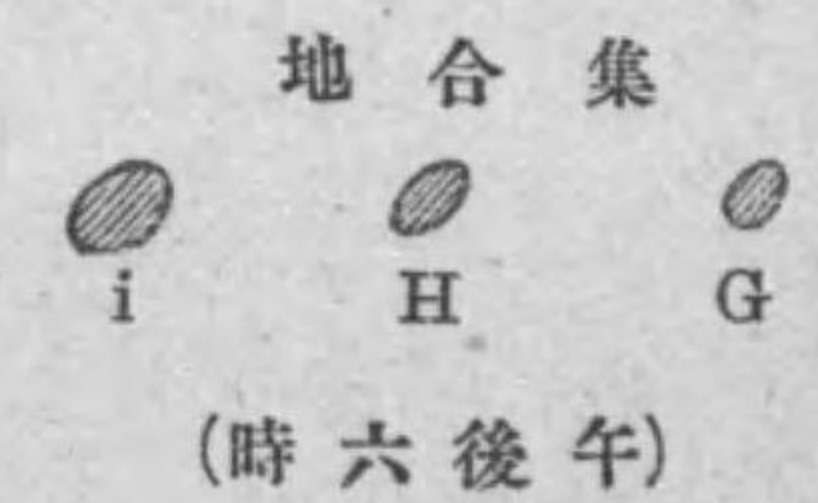
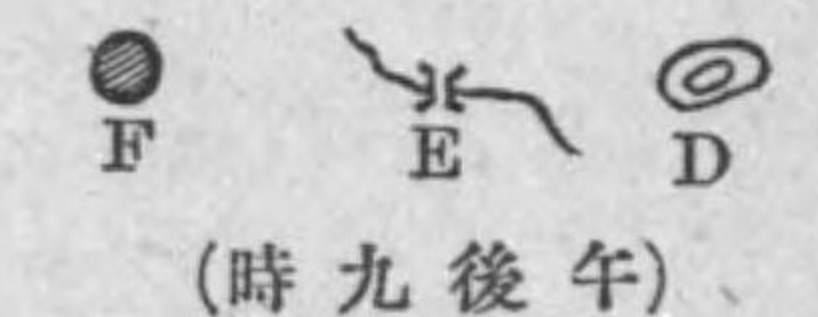
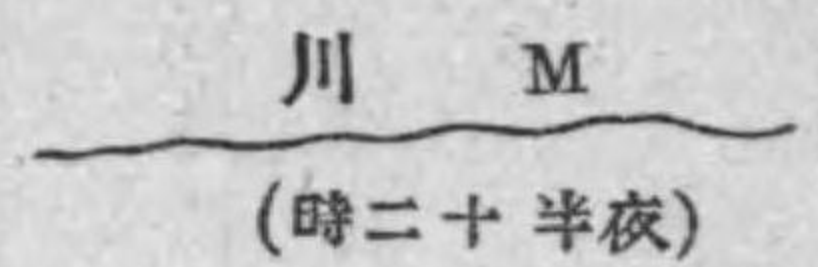
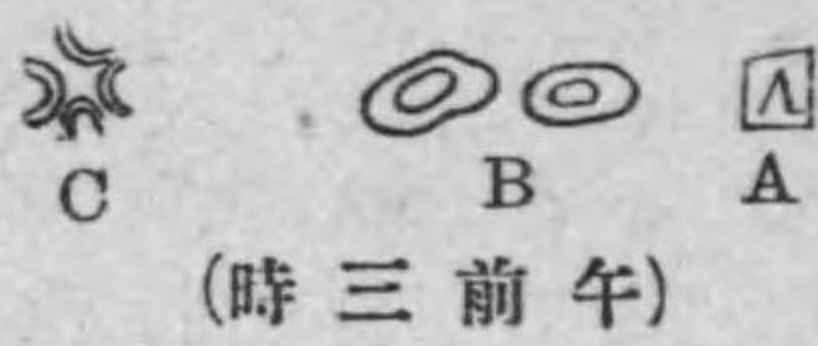
攻撃行動發起ノ準備位置タル各隊集合地ハ綿密詳細ニ指示セサルヘカラス數個縦隊ヲ以テ數點ニ向ヒ攻撃ヲ爲ス場合特ニ然リ本集合地ハ即チ夜間攻撃運動發起ノ地點ニシテ恰モ晝間攻撃ニ於ケル攻撃準備位置ノ如キ關係ヲ有スルモノナリ集合地ハ戰鬥準備姿勢ヲ以テスル行動距離ヲ短縮スル爲成ルヘク敵ニ近接ヲ要スト雖過度ニ接近シテ敵ニ過早ニ發覺セラレサルヲ要ス

集合地ヘノ前進ハ普通ノ夜行軍ヲ以テ各隊所要ノ警戒ヲ設ケ多クハ道路ヲ行軍隊形ヲ以テ前進スルモノナリ集合運動ヲ敵ニ秘匿スル爲警戒幕ヲ設ケ又土民ノ内通スル疑アルモノヲ抑留スル等適宜ノ處置ヲ必要トスルハ勿論ナリトス

集合地ヲ敵前幾何ノ距離ニ設クヘキカハ現時ノ狀況ニ關スルヲ以テ之カ標準ヲ示シ難シ

彼我近ク相對シテ第一線ヨリ進出シテ夜間攻撃ヲナス如キ場合ハ第一線直後ニ於テ準備スルモノニシテ彼我ノ中間ニ殊更ニ集合地ヲ設クルノ必要ナキハ勿論ナリトス

集合地ヨリ展開地點又ハ突撃準備ノ地點迄ノ距離遠ク且其間ノ地形錯雜ニシテ數個縦隊又ハ攻撃隊ヲシテ同時ノ攻撃實施ヲナサシメント欲スル場合ニハ中間ニ於ケル到著點ヲ示スヲ以テ適當トナスコトアリ步兵操典第二部第八十三ニ「要スレハ到著點等」下アルモノ之ナリ夜間ハ晝間ニ於ケルカ如ク單ニ縱方向ニ於ケル戰鬪地域ニヨリ戰鬪任務ヲ下附シ諸隊ノ協同動作ヲ以テ戰鬪ヲ統一スルコト不可能ナルヲ以テ運動ヲ規正シ之ヲ以テ戰鬪ノ統一ヲ計ルハ實ニ已ムヲ得サル所ナリトス若夫レ近距離ニシテ地形平易而モ一個ノ攻撃隊ヲ用フル如キ場合ニ於テハ此中間到著點ノ不用ナルハ勿論ニシテ操典ニ「要スレ」ハノ句アルニ徴シテモ明ナリトス
到著點ハ一個ナルコトアリ又數個ナルコトアルハ勿論ニシテ通常時間ヲ以テ之ヲ規定ス例ヘハ



午後六時集合地タルG、H、iノ線ヲ出發シ午後九時ニハD、E、Fノ線、正子ニハM川ノ線、午前三時ニハA、B、Cノ線ニ到著セシムル如キ其一例ナリ

(ロ) 展開地及同地ヘノ前進

展開地トハ爾後接戰準備ヲ以テ前進スル爲ノ發起點ニシテ晝間攻撃ニ於テ云ヘハ、散間又ハ射撃開始ノ線トモ對比シ得ヘシ而シテ展開地ハ敵ニ發覺セラルルコトナク又爾後ノ行動ニ支障ナキ限リハ成ルヘク敵ニ接近スルヲ可トス展開地ト敵トノ距離ハ狀況ニ依リ一定シ難シト雖通常七百米内外ヲ適當トスルカ如シ彼我近ク相對スル場合ニハ我第一線ハ直ニ此展開地トナルハ勿論ナリトス

此地ニ向フ前進ハ接敵行進ニシテ前述ノ前進ニ比スレハ特ニ警戒ヲ嚴ニシ敵斥候トノ遭遇ヲ豫期シ之ヲ驅逐シテ前進スルヲ要スヘク即チ警戒至嚴ナル警戒行軍ノ如キモノナリ詳言スレハ普通ノ警戒行軍ト戰鬪行進トヲ折衷シタル如キ状態ニアルヲ一般トス而シテ多クハ縱長ヲ短縮シ併立縱隊ヲ併立シタル隊形ヲ用フルナラン而シテ其速度モ亦通常ノ夜行軍ニ比シ減少スルハ自然ナリトス(約二分一位ナランカ)

(ハ) 展開及突撃準備位置ヘノ前進

夜間攻撃ニ於ケル部署ハ次ノ二部ニ大別ス

(I) 攻撃部隊

(II) 高級指揮官(地區ニ於ケル高級指揮官)ノ有スル豫備隊

但シ總指揮官明拂曉後ニ於ケル作戰準備ノ爲保有スル軍隊ハ此以外ナリトス

以上ノ部署ヲ更ニ細別スレハ次ノ如シ

〔第一線〕

(I) 攻撃部隊

豫備隊(第二線)

(II) 豫備隊(第三線)

第一線ハ攻撃ノ衝ニ方リ第二線ハ之ヲ支援シ第三線ハ攻撃ニハ參與スルコトナク不時ニ備フル豫備隊ナリ

步兵操典第二部第八十五第二項ニ指示スル夜襲部署ノ要領ハ即チ前記攻撃部隊内ノ區分ニ就テ述ヘタルモノナルコトニ注意スルヲ要ス詳言スレハ攻撃部隊夜間攻撃ノ爲ノ縱長區分ハ二線區分ヲ通常トナス攻撃部隊自ラ三線ノ區分ヲナスカ如キハ暗黒ノ夜ニ在リテハ殊ニ混雜ヲ助長スルノミニテ效果甚タ少キハ過去戰役ノ實驗ニ徴シテ明カナリ而シテ攻撃部隊ノ大部ヲ第一線トナシ一舉ニ白兵ヲ以テ戰ヲ決スルノ可ナルハ操典ノ指示スル所ナリ
各梯隊ノ關係ヲ過去戰役及外國操典等ヲ參照シテ案スルニ現時ノ狀況及兵力ニヨリ大差アリト雖一例ヲ示セハ左ノ如シ

以上ハ一例ニシテ實際ノ距離間隔等ハ現時ノ狀況及地形ニヨリ決定スヘキモノトス

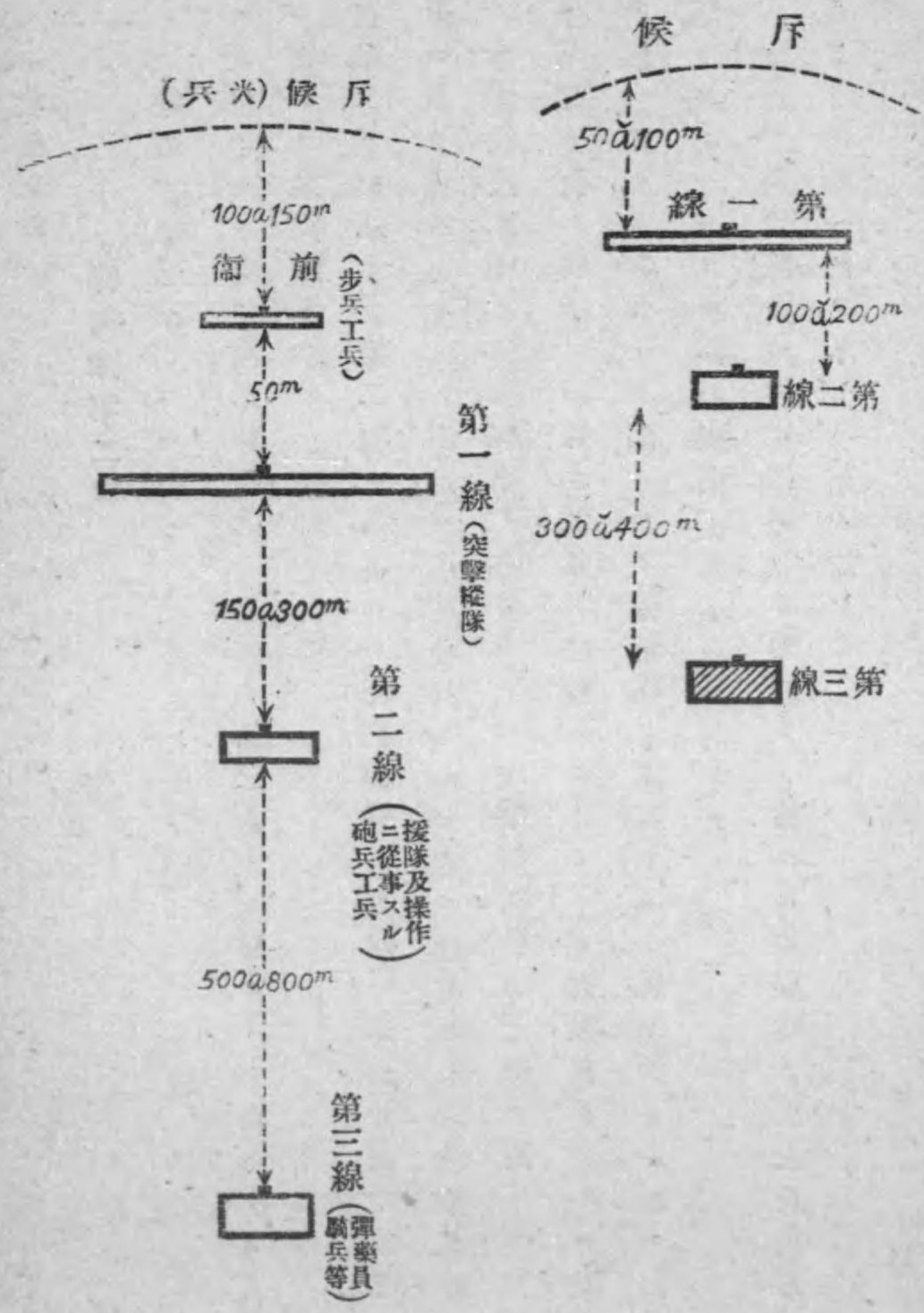
展開地ヨリノ前進ニ在リテモ途中敵ト衝突スルノ虞少キトキハ併立縦隊ノ横接シタルモノヲ用ヒ行進ノ容易ヲ望ムト雖之ニ反スルトキハ行進ノ困難ヲ忍ビ中隊縦隊ヲ横接シタル隊形ヲ以テ前進セサルヘカラス

此地區間ニ於ケル前進ハ所謂靜肅行進ニシテ其歩度モ亦短縮ス而シテ其速度ハ地形ニ關係スト雖實驗上一時間千米乃至千六七百米約三分一乃至四分一ナルカ如シ

攻者ハ此前進間殊ニ防者ノ妨害手段即チ射擊、照明、逆襲等ニ遭遇スヘク攻者ハ宜シク之ニ堪ヘサルヘカラス換言スレハ無聲ノ脅威ヲ以テ之ヲ壓セサルヘカラス

(二) 突撃準備及實施

突撃準備地點ハ通常晝間ト同シク百米内外ト稱スル者多キモ五十米位ニ近接シ得タル例モ亦少カラス要ハ敵火ヲ顧慮シ成ルヘク近接シ一舉ニ突進シテ接戦ヲナシ得ル地點ナルヲ要ス



特ニ設備セラレタル陣地ニ對シ強襲ヲ行フ夜襲ハ障碍物ノ破壊除去ヲナシ又手榴彈投入ノ機ニ乗スル等種々ノ手段アリ

普通ノ場合ニ於テ攻者ハ突撃ニ際シ其射撃ヲ以テ守者ノ心膽ヲ寒カラシメ驚駭騷擾措ク能ハサラシムルト同時ニ攻者自ラモ今迄堅忍シテ壓迫シ置キタル滿身ノ勇ヲ一時ニ爆發セシメ其瞬間ヲ利用シ無我夢中ノ間ニ格戰場裡ニ導カントスル考案アリ此意見ハ夜間戰鬪ノ歴戰者中ニ屢耳ニスル所ニシテ精神作用上一理ナキニアラザルモ熟考スルトキハ稍疑點ノ存スル所ナクンハアルヘカラス

- (1) 斯ノ如キ脅威手段ニヨリ成効セルハ守者自ラ退却セル場合ニアラサルカ
- (2) 頑強ニ陣地ヲ保持スル守者ハ此脅威ニ恐レサルカ又ハ第一線ハ一時震駭セララルモ後方部隊ヲシテ之ヲ支援スル準備ヲ與ヘサルカ

- (3) 頑強ニ陣地ヲ固守セントスル守者ニ對シテ一度射撃ヲ開始セハ更ニ此射撃部隊ヲ驅リテ突入スルハ困難ニシテ突入ハ攻者ノ豫備隊ニ依頼スルニ至ラサルカ果シテ然ラハ其間守者ニ精神上又形體上多少タリトモ準備ヲナサシムルニ至ラサルカ

予ハ此點ニ關シ眞ノ急襲即チ奇襲ヲ企圖スルモノハ絶對ニ攻者ノ射撃ヲ否認シ強襲的夜間攻撃ニ於テハ時トシテ已ムヲ得ス之ヲ許シ特種ノ場合例ヘハ敵ノ騷擾等ヲ目的トスル場合ニハ特別トシテ之ヲ行フコトアリト信スルモノナリ喊聲ニ關シテモ亦然リ

(ホ) 突撃實施後ノ動作

攻撃効ヲ奏スレハ攻者ハ速ニ占領セル敵陣地ヲ守備シ隊伍ヲ整頓シ敵ノ恢復攻撃ニ備フヘシ即チ晝間攻撃ニ於ケルカ如ク敵陣地後端迄ノ進出ヲ企圖スヘキモノニアラス否之ヲ企圖スルトキハ隊伍ハ更ニ散亂シ而モ進出セル利益即チ追撃射撃ハ之ヲ行フニ由ナケレハナリ

占領地警備ノ處置ヲナシ後追撃ヲ行フ而シテ其追撃ハ歩兵ノ一小部隊ヲ以テスルヲ通常トシ大部隊殊ニ騎兵砲兵ノ如キハ天明後ニアラサレハ使用困難ナリ攻撃効ヲ奏セサルコトアルモ夜間ノ失敗ハ局部的ニシテ之ヲ全般ニ及ホスコト少ク又他方面ノ狀況ハ拂曉ニアラサレハ知ルヲ得サルト守者ノ追撃モ亦晝間ノ如ク遠ク及ハサル關係上各隊ハ各現在地ニ於テ兵力ヲ集結シテ再度ノ戰鬪ヲ準

備シ天明ヲ待ツヘキモノトス若夫晝間突撃ノ如ク一回失敗セル部隊ヲ驅リテ再三再四突撃ヲ企圖スル如キハ實際不可能ノ事ナリトス只狀況之ヲ許サハ後方部隊ヲ以テ再攻撃ヲ企圖スヘキナリ

其四 局地戦

(イ) 山地ニ於ケル夜間攻撃

日露戦役中幾多ノ戰例存スルヲ以テ諸官ハ之ニ依リ成敗ノ跡ヲ尋スレハ利害要領ヲ自得シ得ヘシ山地(起伏地)ニ於ケル高所(高地)ニアル敵ニ對スル夜襲ハ運動ノ爲困難ナルモ敵ノ意表ニ出ツルコトハ準備ノ時日ヲ有スレハ比較的容易ニシテ案外成効ノ公算多キカ如シ
今山地ニ於テ高所ニ在ル敵ヲ低地ヨリ攻撃スル場合ニ就キ二三ノ利害ヲ解説スレハ次ノ如シ

- (1) 樹木ナキ山頂ハ比較的明瞭ナル目標ヲ呈シ各稜線及谷地ハ前進方向ヲ指示シテ方向ノ迷誤ヲ少カラシム
- (2) 死角多ク晝間ニ於ケル側防火モ夜間ハ効力少ナク火戦ニ於ケル水平射撃

ハ攻者ノ頭上ヲ超越シテ損害少シ

- (3) 高所ヨリスル夜間ノ視察ハ低地ヨリ透視スルモノニ比シ不利益ニシテ守者攻者ノ狀況ヲ看破スルハ攻者守者ノ状態ヲ知ルヨリモ不便ナリ

- (4) 高地ノ内斜面急ナルトキハ守者ノ後方部隊ノ應援困難ニシテ機ヲ失シ易シ

- (5) 攻者ハ稜線上ヲ四列側面甚シキハ一列側面縱隊ニテ前進シ且斜面ヲ攀登スルヲ以テ疲勞ト怯懦トハ交相至リ長徑ノ延伸トナリ之ヲ集結スルニ多時ヲ要シ守者ニ發覺セラレ易シ

- (6) 攻者ノ後方部隊モ亦適時支援困難ナリ
之ヲ要スルニ山地ニ於テ高所ニアル敵ヲ攻撃スルハ死角ヲ利用シ不意ニ現出シテ奇襲スルニ在リ而シテ運動ノ困難ヨリ生スル弊害ヲ醫スルニハ訓練ト夜襲實
行前諸偵察諸準備ニ多クノ時間ヲ有セシムルコト緊要ナリ

(ロ) 河川附近ノ戰鬪(短隘路後ニ於ケル敵ノ攻撃)

河川附近ニ於ケル夜間攻撃ハ守者ノ警戒隊ヲ驅逐シテ攻者ノ河岸又ハ中洲等ヲ

占領セント欲スルカ又ハ渡河點ヲ占領セント欲スル場合ニ生スルモノニシテ多クハ短隘路ノ直後ヲ守備スル守者ヲ擊退スルヲ目的トシテ生スルモノナリ此種攻撃ニ於ケル唯一ノ要件ハ奇襲急襲ニ在リ即チ不意ニ乘スル外策ナシ敵ノ守備隊ニシテ射撃設備ヲナシ十分準備セル渡河點隘路等ヲ強襲的ニ占領セント欲スルハ寧ろ無謀ト云ハサルヘカラス陽動ヲ以テ敵ヲ欺騙スルカ若已ムヲ得サレハ數日數夜時刻ヲ異ニシ陽戰ヲ企圖シ敵ヲ倦マシメ敵ノ怠慢ヲ生スルヲ待チテ之ニ乘スルカ狀況上時日ノ遷延ヲ許ササル爲敵ノ射撃ヲ豫期シ強襲的ニ攻撃スル場合ニハ強テ敵ノ射撃ヲ誘發シ其間攻者ハ掩伏シ守者射撃ノ間歇時ヲ利用シテ敵陣ニ突入スル等ノ手段ヲ講セサルヘカラス

(ハ) 村落及森林ノ戰鬪

圍壁ヲ有スル堅固ナル村落ヲ堅固ニ守備スルモノニ對シ單ニ肉彈ヲ以テ之ヲ奪取セントスルハ頗ル困難ナリ寧ろ晝間ニ於ケル破壞射撃ト相待テ破壞器具、爆藥、手榴彈等ヲ使用シ強襲的夜間攻撃ヲ企圖スルノ已ムヲ得サルモノアルヘシ圍壁ヲ有セサル普通ノ村落及森林ヲ守備スル敵ニ對スル夜間攻撃ニ方リ大部ヲ

以テ村落、森林内ニ投入スルハ有利ナラス寧ろ一部隊ヲ之ニ充テ其他ハ兩側ヨリ村落及森林ノ反對側ニ進出シ間接ニ村落内又ハ森林内ノ敵ヲ脅威スルヲ有利トナスカ如シ而シテ村落又ハ森林ニ向ヒシ攻撃部隊ハ敵ノ妨害ヲ忍ヒテ村落及森林ニ突入シ攻撃奏効後ハ先ツ村落森林ノ此緣即チ舊敵陣地附近ヲ堅固ニ守備シ深ク村落内又ハ森林内ニ進入セス斥候ヲ以テ敵ニ觸接セシメ敗走兵ノ村内又ハ林内ニ徘徊スルモノヲ搜索シ時機ヲ得テ之ヲ驅逐スルノ方法ヲ講シ天明ヲ待ツヘシ村落又ハ森林ノ彼緣ニ進出シタル部隊ハ危險ナル翼側ノ警戒ヲ嚴ニシ不時ノ事變ニ備ヘ又占領シタル村緣又ハ林緣ヲ守備シ天明ヲ待ツヘキモノトス之ヲ要スルニ夜間攻撃ニ關シ日露戰役ハ比較的豐富ナル材料ヲ有スルカ故ニ諸官ハ戰史ヲ繙キ其成敗ノ跡ヲ尋ネ將來ノ活用ニ資セラレンコトヲ切望シテ已マス諸戰例ニ關シテハ諸官ノ自習ニ委ネ茲ニ之ヲ省略ス

防禦

(イ) 要義

夜間防禦ハ晝間ニ於ケル防者ノ物質的利益ヲ減殺スル目的ヲ以テ企圖スル攻者

ノ攻撃ニ對抗スル必要上已ムヲ得ス發生スル守者ノ一ノ對抗手段ニシテ守者ニ取リテハ斯ノ如キ困難ハ蓋シ少カルヘシ晝間ニ於テ已ニ受働守勢ニ陥リ易キ守者ハ夜間ニ於テ物質的利益ノ減少ト狀況ノ不明ニ基ク動作ノ束縛精神的打撃トハ交加ハルヲ以テ守者ヲシテ一層困難ノ状態ニ陥ラシムレハナリ
夜間防禦ノ要義ハ速ニ敵ノ近接ヲ察知スルト敵ヲシテ我陣地ニ接近セシメサル如ク其行動ヲ途中挫折セシムルトヲ以テ第一義トナササルヘカラス

(ロ) 準備

守者ハ攻者ノ夜間攻撃ヲ受クヘシト判斷スル場合ニ於テハ之ニ對抗スル爲ノ諸準備ヲ要スルヤ勿論ナリ(步兵操典第二部第八十七)
警戒兵ヲ防禦線前ニ派遣シテ敵ノ近接ヲ察知シ諸種ノ通信手段ヲ以テ之ヲ速ニ本隊ニ報告スルト同時ニ敵ノ行動ヲ妨害シテ其靜肅ヲ破リ攻者ノ企圖スル無聲ノ威嚇ヲ變シテ有聲ノ實體ヲ表ハサシメ以テ本隊ニ所要ノ準備ヲナサシムルヲ要ス

障碍物ヲ設備シ一ハ敵ノ近接察知ニ便シ一ハ其近接動作ヲ困難ナラシメ以テ敵

ノ企圖ヲ挫折セシムルコトヲ勉ムルヲ要ス

照明法ヲ講シ探照燈、燎火、其他各種ノ手段ヲ併用シ暗黒ヨリ生スル不安ノ念ヲ沈メ併セテ攻者ノ行動ヲ阻害スルヲ要ス

夜間射撃ノ設備ヲナシ敵ノ必ス通過スルヲ要スル地點ニ射撃持ニ機關銃射撃ヲ集中スル如クナシアルヲ要ス而シテ夜間彈藥ノ補充又ハ裝填等ノ不便ヲ顧慮シ之カ準備ヲ爲スト同時ニ超過彈ナキ如ク注意スルヲ要ス又第一線ニ於ケル守兵ハ増大シアルヲ要ス

敵兵近接シ我陣地ニ突入セントスルヤ守者ハ自ラ後方部隊ヲ以テ側面ヨリ突入ニ先ンシテ反撃ヲ加フルヲ得ハ攻者ノ企圖ヲ挫折スルニ最モ妙ナリ之カ爲後方部隊ハ第一線ニ近ク招致シアルヲ要ス只暗黒ハ時機ノ觀破、方向ノ選定ヲ困難ナラシム但シ攻者守者ノ陣地前ニ於テ行フ工事ヲ妨害スル場合ノ如キハ小部隊ヲ以テ足レリトス

夜間守者ハ若干其位置ヲ變更スルヲ適當トナスコトアリ然レトモ是小部隊又ハ大部隊内某一部分特ニ晝夜ニ於ケル戰鬪上弱點ヲ補綴シ得ル場合ニ於テ應用ス

ヘキモノニシテ全隊ノ位置ヲ變スル如キハ不可能無意味ノ事ナリ何トナレハ
攻者若守者ノ不在中其晝間陣地ト豫定スル地點ニ進入セハ守者ハ自ラ陣地ヲ投
棄シ夜間ニ於ケル安寧保持ノ爲晝間ノ戰鬪ヲ斷念シタル結果ヲ生スヘケレハナ
リ

(ハ) 防支及戰鬪後ノ動作

守者ハ先ニ逃ヘタル諸準備ニ基キ攻者ノ運動ヲ妨害シ之ヲ防支シ爲シ得レハ反
撃ヲ以テ之ヲ擊退スルヲ要ス
守者攻者ヲ擊退シ得タルトキハ陣地ノ守備ヲ嚴ニシ決シテ輕舉ニ行動スヘカラ
ス殊ニ大部隊ヲ以テスル追撃ノ如キハ禁物ナリ宜シク斥候又ハ一小部隊ヲ以テ
追躡セシムルヲ可トス如斯シテ攻者其後方部隊ヲ以テ守者ノ混亂ニ乘シ再度企
圖スヘキ攻撃ヲ擊退スルノ準備ヲナシアルヲ要ス
守者擊退セラレタル場合ト雖決シテ輕舉ニ全陣地ヲ撤スヘカラス各、現在地ニ在
リテ天明ヲ待ツヘシ又後方部隊ハ適時恢復政撃ヲ企圖スヘキモノトス

兵力集結(準備陣)ニ關スル原則的説明

(一) 兵力集結一般ノ解

作戰ノ某時機ニ於テ爾後行動ヲ律スルニ必要ナル標準即チ敵情ヲ得ル迄一時
駐止ノ姿勢ニ在ルモノ凡テ之一ノ兵力集結ナリ故ニ作戰軍ニシテ狀況不明ナ
ルトキハ戰術及戰略上又攻守兩勢何レノ場合ニ於テモ之ヲ採用スルコトアリ
然レトモ適當ナル標準アルニ拘ハラズ指揮官自己ノ欲望又ハ不安ノ念ヨリシ
テ未タ狀況不明ナリトナシ強テ斯ノ如キ姿勢ヲ探ラント欲スルハ無爲無能ナ
ル凡將ノ行爲ニシテ識者以テ遲疑逡巡スルモノトナシ兵家ノ最モ忌ム所ナリ

(二) 準備陣

準備陣トハ攻撃及防禦ニ於テ主力ノ使用方面及時機ヲ決定シ能ハサル際軍隊
ノ一時探ルヘキ姿勢ニシテ戰術上ノ兵力集結ナリ例ヘハ攻撃ノ場合ニ於テ狀
況不明ノ爲攻撃方向ヲ決定シ能ハサルトキ、防禦ノ場合ニ於テ敵ノ攻撃方向不
明ノ爲決定配備ヲ取ル能ハサルトキ等ニ採用スルモノナリ又敵兵某方面ニ來

兵力集結(準備陣)ニ關スル原則的説明

ラハ之ヲ攻撃シ他方面ニ來ルトキハ之ヲ防禦セントスル等ノ場合ニモ此姿勢ヲ採用スルコトアリ茲ニ注意スヘキハ防禦ノ場合ニ於テ既ニ配備ヲ決定シア
ルモ過早ナル陣地占領ノ害ヲ避ケンカ爲各軍隊カ一時戦闘線ノ後方ニ控置セ
ラルル如キハ之ヲ準備陣ト稱スルヲ得ス之形體上ニ於テ前者ト類似スルモ指
揮官ノ意志異ルヲ以テナリ

(三) 中央陣

戰略的守勢ニ在ル作戰軍カ敵情ノ不明ナル間一時駐止スル姿勢ニシテ所謂戰
略的準備陣ト見ルヲ得ヘシ只其作戰行動ノ地域廣ク作戰軍ノ戦闘手段ノ採擇
ニ自由大ナルヲ異リトス此種姿勢ハ河川山地又ハ國境守備等ニ採用セラルル
コト多シ

内戦ニ在ル作戰軍ニシテ敵情ヲ明カニスル爲一時駐止ノ姿勢ニ在ルモ亦中央
陣ノ一種ト見ルヲ得ヘシ

(四) 戰略的攻勢作戰軍ノ兵力集結

攻勢作戰ヲ爲ス軍ニシテ敵情ヲ明カニスル爲一時駐止ノ姿勢ヲ採ルコトアリ

例ヘハ數方面ヨリ敵ノ接近スル際其主力ヲ求メテ之ヲ攻撃セントスルトキ敵
ノ軍隊ヲ作戰目標トナス作戰軍ニシテ敵兵離心退却ヲナスニ當リ其主力ノ退
却方向不明ナルトキ等即チ之ナリ然レトモ此種姿勢ヲ準備陣又ハ中央陣ト稱
スルハ適當ナラス寧ロ單ニ兵力集結ト稱シ之ヲ區別スルヲ學習上便ナリトセ
ン

(五) 兵力集結ニ於ケル配置ノ着眼

各場合ニ於ケル軍隊配置ノ状態ハ我軍ノ目的地形殊ニ敵情ノ如何ニ關スルカ
故ニ原則トシテ指示スヘキモノナシ然レトモ各場合ヲ通シテ其主旨トスル所
ナクンハアルヘカラス即チ左ノ如シ

(1) 敵情搜索通信連絡ノ方法手段ニ遺漏ナキヲ要ス
(2) 作戰軍ノ目的ニ應シ將來我作戰指導ニ緊要ナル諸地點ハ之ヲ占領シアル
ヲ要ス

(3) 現時ノ狀況ニ應シ適當ナル自衛ノ方法ヲ講シ置クヲ要ス
(4) 作戰軍ノ主力ハ豫想スル各狀況ニ應シ得ル地點ヲ選擇シ要スレハ人工ヲ

施シ軍隊ハ常ニ行動ヲ開始シ得ル如キ姿勢ニ在ルヲ要ス

(5) 後方機關ハ作戰軍ノ行動ヲ制限セサル如ク整備シアルヲ要ス

以上述ヘタル準備陣中央陣等ハ學習上稱呼ヲ簡約ナラシムルノ辭ニシテ實際作戦上ニ使用スヘキ實務上ノ語ニアラス故ニ諸官ハ決シテ作戰命令等ニ此種ノ言辭ヲ使用セサルニ注意スヘシ

戰場掃除ニ關スル原則的説明

(一) 掃除地域ノ配當

晝間ノ交戦區域ニ準シ當該地域内ニ在ル軍隊(軍隊區分)ニ一般地域ヲ數區ニ分割シテ之ヲ配當ス

某地域内各隊ニハ更ニ地域ヲ小分シテ一地區ヲ配當ス如斯シテ漸次次級部隊ニ及ホス但シ不在部隊アルトキハ他部隊ヲシテ其地域内ヲモ掃除セシムルモノトス

(二) 戰場掃除隊ノ編組及其區分

掃除隊ノ編組ハ地域内ニ存在スル軍隊ノ數及當日戰鬪ノ景況地形等ニヨリ變化スト雖今假ニ步兵一聯隊及工兵一小隊ヨリ成ル部隊ニ就キ一例ヲ示セハ次ノ如シ

長	中尉	少尉	准士官	下士	兵卒	摘	要
	一			一	二		

戰場掃除ニ關スル原則的説明

步兵	本科	一	二	一五	(一)二〇	(イ一)ハ馬匹取扱心得者トス其他擔架術心得者及擔架ノ携行チナサシム
	衛生部	一	二	二	四	
小隊兵				二	三	搜索及作業者ヲ含ム

以上ノ編組ニ基キ之ヲ甲乙二班ニ分チ甲ハ長以下歩兵及工兵ノ大部及衛生部員ヲ以テシ乙ハ殘餘ノ兵員ヲ以テ之ニ充ツ而シテ兩班ノ主要ナル分擔任務左ノ如シ

甲班 搜索、收集、後送及埋葬等人馬ニ關スル事項

乙班 武器、被服、裝具、糧秣等物件ニ關スル事項

(三) 特別委員ノ編成

左ノ如キ特別委員又ハ係員ヲ編成シ整理ヲ爲サシムル必要アルヘシ

(A) 武器係 砲兵中尉副官ヲ長トシ之ニ砲工、輜重兵等ノ下士卒若干ヲ

附ス

(B) 被服、裝具、糧秣係 主計ヲ長トシ計手及兵卒若干ヲ附ス

(C) 俘虜係 諜報主任ノ參謀ヲ長トシ敵國語學ニ通スル譯官及下士卒

若干名ヲ附ス時宜ニ依リ法務官ヲ顧問トナスノ必要アルコトアルヘシ

(四) 各部隊動作ノ概要

(1) 傷者、疲勞者ノ收集

甲班ハ傷者、疲勞者ノ搜索ニ任シ衛生部員ハ某所ニ救護所ヲ設ケ所要ノ手當ヲ加ヘ輕傷者等ニシテ一時道ヲ失シテ戰場ニ在ル者ニハ指示ヲ與ヘ某道ヲ何地野戰病院ニ趣カシメ其他ハ夜間ナレハ翌朝迄救護所ニ殘留セシム但シ自國軍ノ者ト敵軍ノ者トハ場所ヲ異ニス(俘虜トシテ取扱ヒ得ル程度ノ者ハ此限ニアラス)

(2) 死者ノ收集及取扱

死者ハ隊號、官等、氏名及認識票ヲ書取ラシメ携行品ヲ檢シ後之ヲ某地畑地(敵ノ散兵壕等ヲ利用シ得ルトキハ最モ可ナレトモ否サレハ工兵ヲシテ散兵壕様ノモノヲ掘開セシム)ニ各人ヲ順序ニ排列シ且標識ヲナシ火葬已ムヲ得サレハ土葬ニ附ス但シ將校及下士卒ハ區別シテ取扱フヲ可トス敵軍ノ者モ略

戰場掃除ニ關スル原則的說明

之ニ準ス

貴重品ハ遺失ヲ防ク爲各人毎ニ一括シテ目錄ヲ附シ之ヲ適宜ノ場所掩蔽下ヲ可トスニ收集シ監視兵ヲ附ス

頭髮及火葬後遺骨ヲ收集シ各人毎ニ區分シ其貴重品ト共ニ後送ノ準備ヲナシ兵站部員ニ引續キヲナス

火葬ニ附シタル場所ニハ適當ノ墓標ヲ建立シテ後日ノ標識トナスヘシ

但シ所屬隊ノ異ル者ハ收集ノミヲ行ヒ之ヲ原隊掃除隊ニ通報シ其隊ノ受領人ニ交附スルトキハ爾後ノ整理ニ便ナリ然レトモ狀況上右ノ手續ヲ爲シ得サルトキハ遺物遺骨ヲ以テ原隊委員ニ交附スルカ又ハ直ニ後送ノ手續ヲ爲シ之ヲ通報スルモノトス

(3) 武器、被服裝具、糧秣ノ取扱

此種ノモノハ一先某地停車場附近等ヲ可トスニ收集シ武器、被服、裝具、糧秣毎ニ場所ヲ異ニシ自國軍ニ屬スルモノト戰利品トヲ區別シ置カシム但シ數量著大ニシテ運搬シ難キモノハ此限ニアラス

自國軍ニ屬スルモノニシテ尙使用ニ堪ヘ且各隊ニ要スルモノハ整理委員適宜之ヲ配當ス(上司ノ旨ヲ奉スルハ勿論)不用品又ハ使用ニ堪ヘサルモノハ一地ニ集積シ兵站部員ニ後送ノ手續ヲ爲ス

戰利品中我軍ニ使用シテ有利ナルモノハ上司ニ報告シテ指示ヲ仰キ其他ハ前項ニ準ス而シテ品目員數ヲ調査シ目錄ヲ附スルハ勿論ナリトス
被服其他モ亦概テ前項ニ準ス

(4) 俘虜ノ取扱

俘虜ハ陣中要務令第七十五ノ如ク取扱ヒ某地ニ收集シ(成ルヘク場所ヲ異ニス)之ヲ師團司令部等ニ報告セシム但シ軍用圖書等ハ特ニ迅速ニ師團司令部等ニ送達セシム

審問委員ハ俘虜收容場ニ到リ所要ノ審問ヲ爲ス

第四期教授擔任間ノ所感及將來ニ 關スル修學上ノ注意

精神ヲ統一シテ實況中ノ人トナルヲ第一トス斯ノ如クニシテ始メテ難問ヲ解シ得ヘシ狀況ノ指示ヲ迎フルコト實戰ニ於ケル指揮官ノ如クナルヘシ
大局ニ著眼シ主旨ノアル所ヲ闡明ナラシムヘシ
研究ハ順序ヲ逐ウテ細密ニシ脱漏ナキヲ要ス又講堂ニ出ツルニハ指揮官トシテノ作戰的準備アルヲ要ス連續スル作戰研究ノ際殊ニ然リ
研究ニハ反省ト自得並考案成立ニ關スル順序方法ヲ會得シ又工夫スヘシ
作業ニ對スル自己ノ責任ヲ自覺セヨ斯ノ如クニシテ始メテ脱漏ナキヲ得ヘシ特ニ一作業中初ト終トニ於テ疎密アルカ如キハ最モ不可ナリ
自己作業ノ主旨大眼目トスル所及其理由ヲ明ニシ同時ニ其最大ノ害竝之ヲ醫スル方法手段ヲ講スヘシ斯ノ如クセハ縦ヒ最良ノ案ナラストスルモ亦一案タルヲ得ル自信アル作業ヲナシ得ルモノナリ

統帥ノ手續ハ命令ニ在リ故ニ何事ヲ爲スニモ必ス之ヲ下達シ得ルノ準備腹案ヲ要ス

戰術研究ニハ己ヲ空ウシテ人ヲ容ルルノ雅量、鐵石ノ如キ堅固ナル意志、目的ヲ達成セスンハ死ストモ己マサルノ執著心、機ニ應シ變ニ處シテ圓轉滑脫ナル彈發心等ヲ要ス是戰術ノ活學ナル所以ナリ予カ常ニ諸氏ニ戰術ハ腹ノ學問ニシテ才ノ學問ニアラスト訓フルハ蓋シ此意ニ外ナラス諸氏夫レ之ヲ銘セヨ

初級戰術講授錄第四卷 終

大正六年七月二十日印刷
大正六年七月廿五日發行

陸軍大學校將校集會所

東京市四谷區荒木町二番地

印發者兼 印刷者 前田岩太郎

東京市麴町區下六番町十七番地

印刷所 同 勞 舍

319
380

終